

# **いながわ☆未来創造交流会**

## **【結果報告】**



**平成 26 年 1 月**  
**猪名川町**

# 目 次

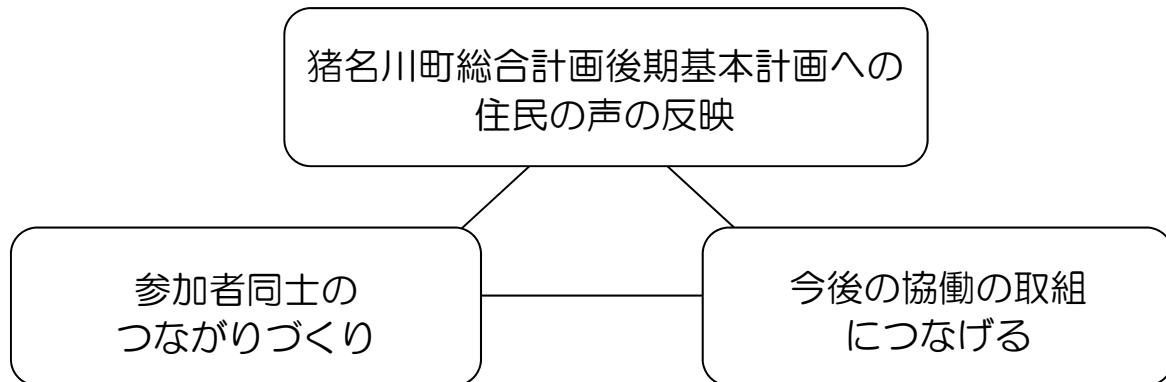
1. いながわ☆未来創造交流会の目的と全体テーマ .....	1
2. いながわ☆未来創造交流会のプログラム .....	3
3. 講演要旨 .....	4
4. グループテーマの設定 .....	9
5. 意見のまとめ .....	10
交流会模造紙まとめ .....	28
参考資料 交流会終了時アンケート集計結果 .....	39

## 1. いながわ☆未来創造交流会の目的と全体テーマ

### (1) いながわ☆未来創造交流会の目的

いながわ☆未来創造交流会は、第五次猪名川町総合計画後期基本計画に住民の皆さんの声を反映することや、参加者同士の交流、協働の取組のきっかけづくりを目的として実施しました。なお、いながわ☆未来創造交流会の企画にあたっては、住民との協働を図り、住民視点での検討がスムーズに行えるよう、住民有志による仕掛けづくり会を設置し、検討を行いました。

#### 【3つの目的】

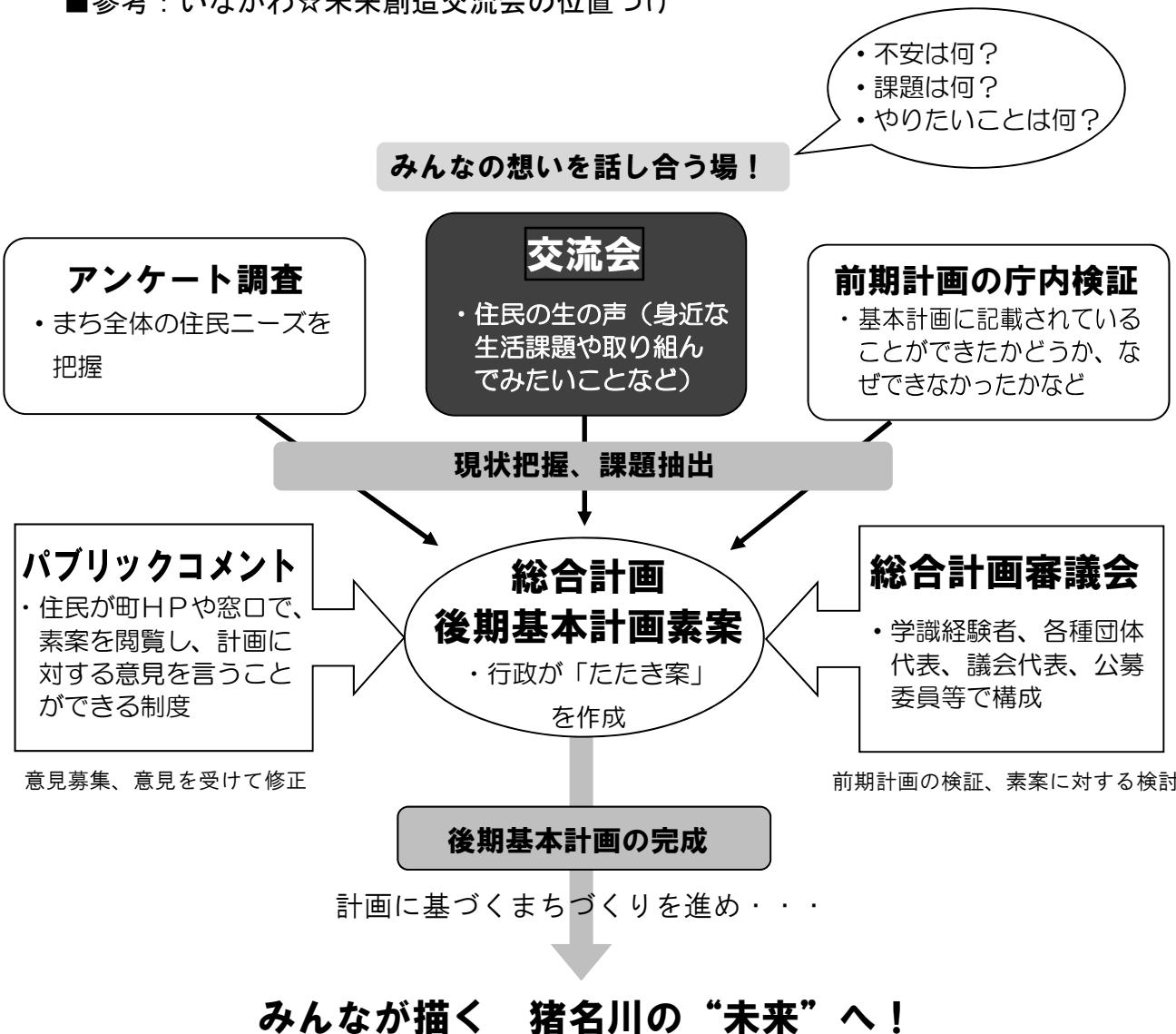


### (2) いながわ☆未来創造交流会の全体テーマ

住民の視点で、今後目指すべきまちの将来像と、その実現のためのアイデアを検討していくため、いながわ☆未来創造交流会の全体テーマを以下の通り設定しました。

「みんなでさがそう！ 猪名川の未来～あした～」

■参考：いながわ☆未来創造交流会の位置づけ



## 2. いながわ☆未来創造交流会のプログラム

全4回に渡る交流会を通じて、参加者同士の交流を深めるとともに、議論を積み重ねました。

	開催日時	会 場	内 容	参加 人数
第1回	10月5日（土） 10:00～12:00	中央公民館 視聴覚ホール 会議室2	<b>【第1部】講 演</b> 近畿大学教授 久 隆浩氏 「暮らしづくりとまちづくり」  <b>【第2部】交流会</b> あなたが気になっていることはなんですか？	57名
第2回	11月10日（日） 13:00～15:00	中央公民館 視聴覚ホール	<b>「猪名川町のいまを見つめよう」</b> ・猪名川町の魅力と課題について	39名
第3回	11月17日（日） 13:00～15:00	中央公民館 視聴覚ホール	<b>「猪名川町の未来～あした～を描こう」</b> ・魅力の活用、課題解決をしながら目指すべきまちの将来像について	38名
第4回	11月24日（日） 13:00～15:00	中央公民館 視聴覚ホール	<b>「猪名川町の未来～あした～を実現する方策を考えよう」</b> ・まちの将来像を実現するための方策について	38名

### 3. 講演要旨

これからまちづくりを進める上での考え方やポイントを共有するため、近畿大学久隆浩教授をお招きし、「暮らしづくりとまちづくり」をテーマに講演を行っていただきました。

#### (1) いながわ☆未来創造交流会について



- ・未来を予想することは難しい。
- ・5年後、10年後どうなるかはわからないが、5年後10年後どうしたいかは想像できる。
- ・未来はやってくるものではなく、どうありたいかを考えて努力していくことで実現していくもの。
- ・一人ひとりが、どういう未来を描いているか確認しないまま進むと、どこにたどり着くかわからないため、交流しながらやっていくのがよい。それが、未来創造交流会の場でできればよい。
- ・世の中は勝手に動いているわけではなく、ムーブメントがあるので、感性を磨くことが大切。
- ・一人ひとりが、「どうありたいか」というところからスタートするのが確実に未来に近づく方法。

#### (2) まちづくりとは

- ・簡単な定義として、暮らしをよりよくするための活動の総体。
- ・今よりも明日、少しでも良くなることがまちづくり。福祉、防犯、教育・・・。いろいろな分野の様々な活動の結果として暮らしをよくする全ての活動がまちづくり。
- ・直訳するとタウンプランニングとなるが、コミュニティプランニング、コミュニティデザインとする方がイメージしやすい。
- ・例えば、公園を作っても暮らしがよくならなければ意味がない。
- ・行って心が和むことや、コミュニケーションの場になるのであれば、居酒屋、音楽ホールなども、公園的な場所になる。
- ・固定観念にとらわれるのではなく、時間、場所を捉え直すことも必要。  
(「公園がほしい」→「公園的の場所がほしい」のように、別の方法を検討することも必要)

### (3) 暮らしを見つめなおす

- ・まちづくりをするときには、自分の暮らしを見つめなおすことが重要。
- ・「公園がほしい」「図書館がほしい」という背景には、実現したい暮らしの姿がある。
- ・「図書館がほしい」背景は、身近で、たくさんの本が読みたいという実現手段が、図書館。本の電子化などにより、10年後の図書館のあり方を想像しなければならない。
- ・ニーズの背景には暮らしの姿がある。

① 私はこんな暮らしをしたい	→ それを実現するために必要なモノ・コト
② それがあるとどんな暮らしが実現できるか ← こんなモノ・コトが欲しい	

<目標・目的>

<方策・手段>

- ・「〇〇がほしい」になってしまうことが多いが、どんな暮らしを実現したいかを考えるのが本来のあり方。
- ・目標、目的が何か、それを実現する方策は何か整理していくべきになる。

ライフスタイル（生活様式）をあきらかにする

ライフステージ（世代）／一生の暮らし方を考える

ライフシーン（生活風景）：働く、学ぶ、憩う、遊ぶ、交わる…／一日・一年の暮らし方を考える

- ・世代によっても、人生の長い段階で、ニーズが違ってくるため、ライフステージに併せて考えてみる。
- ・同じ年代としてもライフシーン、生活のそれぞれの場面で違う。
- ・それぞれが一つになって、生活が成り立っている。
- ・伊勢市都市計画マスターplanでは、まちづくり人生ゲームとして、生まれてから死ぬまでをゲーム形式で検討した。例えば、死んだときの墓はどうするのかなど。

### (4) 生活マスターplanづくり

- ・一人一人の暮らしを考え、調整していく。
- ・生活マスターplanづくりは、10年後、20年後の暮らしの姿を考えていくこと。
- ・それに対して、まちづくりのマスターplanが総合計画となる。
- ・住宅づくりを例にしても、注文住宅をつくるとき、設計者は、家族の状況を聴き、家族団らんを大切にする家庭には、リビングをしっかりつくる。個人の生活を大切な家庭には、個室を重視する。それぞれの家族のライフスタイルによって違う。
- ・まちの皆さんのが想いを聞いて、計画を作っていく。データ分析も必要だが、見えな

い部分は、一人一人の思いを聴かせていくことが重要。

茨木市都市計画マスタートップラン

⇒まちづくりビジョン（市民）／ 都市づくりプラン（行政）

尼崎市総合計画： ありたいまち

- (1) 人が育ち、互いに支えあうまち
- (2) 健康、安全・安心を実感できるまち
- (3) 地域の資源を活かし、活力が生まれるまち
- (4) 次の世代に、よりよい明日をつないでいくまち

- ・尼崎市の「ありたいまち」は、市民の皆さんからの意見を受けながら作ったが、議会からは、「あるべき姿」を行政が責任を持って作っていくべきではとの意見があった。10年後こんなまちだったらいいなという希望を描き、それに対して、行政はどうするかを検討したもの。
- ・「伊丹市でも、猪名川町でも一緒では」「地域らしさがない」という意見があるが、無理して地域らしさを描く必要があるか。市民、住民は伊丹市、尼崎市で違う暮らし方をしているか。地域にこだわらない暮らしをするのであればOK。
- ・猪名川町でなければならぬ暮らし方をしているのであれば別。
- ・猪名川町ならではの暮らし、⇒暮らし続ける=定住にもつながる。
- ・地域ごとに持っている資源が違っているため、一緒に考えていきたい。

## （5）時代の転換期

- ・いろいろなことを深く見ていくと、明治維新に匹敵するくらいの時代の転換期となっている。日本だけでなく世界中で。
- ・大河ドラマ「八重の桜」でも、今までの考え方と、新しい考え方があつつかって、明治がどういう風に出来上がっていく様子が描かれている。
- ・田原総一朗『40歳以上はもういらない』では、20代、30代は考え方が全く違うことが示されている。
- ・古市憲寿『絶望の国の幸福な若者たち』では、将来どうなるかわからない中で、75%以上の若者は現在の暮らしに満足しているとしている。
- ・20代、30代は成長を前提としない。現状維持が基本。下がらないように頑張る。現実的。
- ・人口は着実に減る。30年後には8,000万人位で、消費も減る。
- ・高度経済成長を支えてきた世代は、成長しないと不安でたまらない。
- ・20代、30代はバブルがはじけてからの世代。景気のいい時は経験していないため、今の生活が落ちるのは大変だが、現状を維持し、大きな夢は描かない。大きな改革

- も目指さないが、身近な幸せや、自分ができる範囲で社会を変えることを目指す。
- ・地域の中で困っていることに対して、自分ができる範囲でやっていき、それがムーブメントにつながっていく。
  - ・伊藤洋志『ナリワイをつくる 人生を盗まれない働き方』では、お金を稼ぐのではなく、そこそこの生活をするために、小さな仕事を積み重ねていくことが書かれている。
  - ・こうしたことは、20代、30代の特徴だが、これが未来志向ではないか。

## (6) 近代からポスト近代へ

- ・近代という時代からポスト近代に変わっていくのでは。
- ・中世は絶対権力者が世の中を動かしていた。
- ・近代は、それが弱まり、市民が動かしていた。
- ・トマス・ホッブス『リヴァイアサン』では、人間は身勝手な存在で、市民が世の中を作るなんてできないとしており、一人ひとりがつくるのは難しいため、主権者(国家)に権利を預けて、調整してくれる仕組みを唱えた。
- ・アダムスミスは、国富論で市場が調整してくれる仕組みを唱えた。
- ・この二つの考え方が今の原点となっている。自動的に調整してくれる仕組み。
- ・生活世界の植民地化(J. ハーバーマス)は、私たちが作ったシステムが、生活の自由を奪っているとしている。
- ・バブルがはじけて20年以上、世界中が不況を脱却できない。専門家、政治家もどうしようもない。私たちががんばってもよくできない社会となっているのでは。
- ・自分たちの手でよい地域ができるのか。経済、国家（行政）の仕組みではない、3つの目のしくみとしてボランタリーという考え方があらう一つの社会になる。

## (7) ネットワーク社会へ

- ・情報社会とは何か、ネットワーク社会にふさわしい仕組みが何なのか。
- ・A. トフラー 『第3の波』では、端的に整理している。
  - 第1の波：農業革命（生産＝消費）
  - 第2の波：産業革命（生産／消費）
  - 第3の波：情報革命（生産＝消費）
- ・農業は自給自足が原則。生産と消費が合体していた。
- ・工業化が起こると生産と消費が分かれ、お金（経済）が発達。
- ・第3の波として、違う人たちがでてきた。プロシューマー。例えば市民農園をやっている方は、一部自分の食糧を自分でつくっている。ホームセンターで買って、自分でものを作り人が増えている。インターネットを通じて、ビジネスをしている主婦もいる。いろいろな形で生産に携わっている人が増えている。

- ・ヨハイ・ベンクラー『協力がつくる社会—ペンギンとリヴァイアサン』では、リナックスという無料のOSは、世界中の専門家が協力しながら開発している。ウィキペディアも一緒で、自分のページも作れる。専門家がやるのではなく、みんながちよつとずつ力を發揮しながら、世の中を動かしていく。
- ・インターネットは単なる道具で、自分の責任で使ってもらうしかない。コントロールすることがネットワーク社会では難しい。
- ・協働とは、ネットワーク型の活動のこと。
- ・行政だけでやってしまうのではない。財政難だからやってもらうのではなく、世の中がネットワーク型になっているからやるべきもの。
- ・協働を進めるためには、行政の役割、あり方も変えないといけない。ローカルガバメントからローカルガバナンスへ。
- ・ガバメントは上から抑えてコントロールすること、ガバナンスはみんなで協力しながら動かしていくことであるが、行政は、ガバナンスをやった経験がない。

## (8) まとめ

- ・50年先を見越したときに、今までなかつた仕組みを作っていくことが必要。
- ・町議会があるが、ローカルな問題はみんなで集まって決めていく。小学校区程度が最適。猪名川町でも、まちづくり協議会が動き始めている。
- ・答えは出しにくいかもしれないが、地域の問題を、どうやって動かしていかなければいけないか。未来創造交流会で話し合っていかければ。
- ・自分の5年、10年後を描くところからスタートし、そこからみんなで議論していければと思う。
- ・ぶつかりあうことが必要で、「自分が正しい」ではなく、私はこう思って暮らしてきたが、違う考え方があることを知ることで、折り合っていけるような進め方をしていければと思う。

## 4. グループテーマの設定

第1回交流会において、「あなたが気になっていることはなんですか？」をテーマに、意見をいただきました。

分野	件数	
生活環境（生活基盤・公共交通等）に関すること	32件	○空き家が増えている ○交通が不便など
子ども・子育てに関すること	24件	○子どもが少なくなってきたのが気になる ○安心して産み育てられる環境がほしいなど
地域コミュニティに関すること	22件	○隣近所の付き合いが希薄化している ○地域ボランティアの活動について考えたいなど
高齢者に関すること	22件	○一人暮らし高齢者が多い ○認知症対策が必要など
農業・商業・観光に関すること	18件	○猪名川町の農業について考えたい ○地域資源の有効活用が必要など
教育に関すること	10件	○猪名川町の特色ある教育が必要 ○小中学校のメンバーが変わらないことが気になるなど
雇用・若者に関すること	9件	○若い人の仕事場、活動の場が必要 ○若い人の意識が気になるなど
まちづくりに関すること	7件	○住民の経験を活かしたまちづくりが必要 ○にぎわいがあるのは一部のみとなっているなど
自然環境に関すること	6件	○猪名川町の自然を有効に活用したい ○自然環境が悪化しつつあるなど
その他に関すること	17件	○医療機関の充実が必要 ○障がいのある人の親亡きあとが心配など

上記の意見を踏まえ、猪名川町のまちづくり全般について検討していただけるよう、グループテーマを以下の通り設定しました。

- テーマ1 活力とにぎわいのあるまち
- テーマ2 子どもたちの笑顔があふれるまち
- テーマ3 だれもがいきいきと暮らせるまち
- テーマ4 安心とふれあいのまち

## 5. 意見のまとめ

第2回以降の交流会では、設定したテーマごとにグループによる検討を行いました。

- 1班 活力とにぎわいのあるまち①
- 2班 子どもたちの笑顔があふれるまち
- 3班 だれもがいきいきと暮らせるまち
- 4班 安心とふれあいのまち
- 5班 活力とにぎわいのあるまち②

### ●第2回 猪名川町のいまを見つめよう

第2回の交流会では、「猪名川町のいまを見つめよう」をテーマに、まちの魅力と課題について話し合いました。

### ●第3回 猪名川町の未来～あした～を描こう

第3回の交流会では、「猪名川町の未来～あした～を描こう」をテーマに、まちの将来像について話し合いました。

### ●第4回 猪名川町の未来～あした～を実現する方策を考えよう

第4回の交流会では、「猪名川町の未来～あした～を実現する方策を考えよう」をテーマに、第3回で描いたまちの将来像を実現するためのアイデアについて話し合いました。

## 第2回～第4回交流会の概要

### 【1班 活力とにぎわいのあるまち①】

猪名川町のいまを見つめよう	
第2回	猪名川町の自然や文化、都市部への交通アクセスの良さ、人そのものに魅力を感じている一方で、道路の整備状況やまちの情報発信力の弱さ、高齢化の問題などが課題として挙げられました。
猪名川町の未来～あした～を描こう	
第3回	猪名川町の魅力である自然や文化などの地域資源を活かした観光振興、ブランドの確立を進めるとともに、働く場所を確保し、人口と観光客の増加を図る「安心・安全・にぎわいのあるまち」という未来を描きました。
猪名川町の未来～あした～を実現する方策を考えよう	
第4回	「安全・安心にぎわいのある町」を目指し、猪名川ブランドの充実を図るために規制の見直しやハイキング等まち歩きの充実、里山の再生など、住民と行政の協力のもと地域資源を活かした取組や外部への情報発信、PRの強化が提案されました。

### 【2班 子どもたちの笑顔があふれるまち】

猪名川町のいまを見つめよう	
第2回	自然が多い環境の中で子育てができることや人のあたたかさなどに魅力を感じている一方で、恵まれた自然が十分に活用できていない現状や子どもの居場所が少ないこと、世代間のつながりが薄れていることなどが課題として挙げられました。
猪名川町の未来～あした～を描こう	
第3回	子育て中の親や子ども、高齢者の居場所づくりや地域交流、世代交流の実現、子育てやイベント等に関する情報共有など、人材と地域資源を活かした「成人しても帰ってきたいと思えるまち」という未来を描きました。
猪名川町の未来～あした～を実現する方策を考えよう	
第4回	「帰りたい町」を目指し、自然環境などの地域資源を活かした子どもが行きたい場所づくりや住民のだれもが先生役になれるような町のリーダーづくりなど、つながりづくりによる人が孤立しないための取組が提案されました。

### 【3班 だれもがいきいきと暮らせるまち】

猪名川町のいまを見つめよう	
第2回	恵まれた自然環境やゆとりのある住宅環境、人とのつながりに魅力を感じている一方で、医療体制に対する不安や北部と南部の交流が少ないと、交通の不便さ、少子高齢化問題などが課題として挙げられました。
猪名川町の未来～あした～を描こう	
第3回	自治会活動などの活性化による人とのつながりの強化や交通手段の確保、安心の医療体制など、高齢者や障がいのある人など多様な人が受け入れられる「だれもがいきいきと暮らせるまち」という未来を描きました。
猪名川町の未来～あした～を実現する方策を考えよう	
第4回	「だれもがいきいきと暮らせるまち」を目指し、認知症など弱者の見守り体制の充実や医療に関する相談窓口、ネットワークの充実、安心の医療体制の確立などと併せ、健康づくりや働く場所、人の集まる場づくりなどの取組が提案されました。

### 【4班 安心とふれあいのまち】

猪名川町のいまを見つめよう	
第2回	自然に恵まれながら、生活上の利便性があることや安心して子育てのできる環境、人の良さに魅力を感じている一方で、住民の自発的協力意識の薄さや北部と南部の地域格差、若者の流出などが課題として挙げられました。
猪名川町の未来～あした～を描こう	
第3回	恵まれた自然環境を活かし、働く場所や医療体制などの生活環境が整備され、人とのつながりのある安心できるコミュニティを築ける「みどりとえがおのあふれる町 住んでよかったナ、帰ってきたい町」という未来を描きました。
猪名川町の未来～あした～を実現する方策を考えよう	
第4回	「みどりとえがおのあふれる町 住んでよかったナ、帰ってきたい町」を目指し、困った時に助け合える関係づくりや世代を超えた交流の場づくり、自然への考え方を深める機会づくり、交通面の充実などの取組が提案されました。

### 【5班 活力とにぎわいのあるまち②】

猪名川町のいまを見つめよう	
第2回	豊かな自然や銀銅山などの歴史・文化、住みやすさや人のあたたかさなどに魅力を感じている一方で、働く場所の少なさや人が集まる場所の不足、まちのPR力の弱さなどが課題として挙げられました。
猪名川町の未来～あした～を描こう	
第3回	地域資源を活かしたイベントの開催、廃校や酒蔵など既存の店舗や施設の活用と活性化の促進、ボランティアやコミュニティなど人がつながる仕組みづくりで「農でにぎわう・イベントで集う・活かす・つながるまち」という未来を描きました。
猪名川町の未来～あした～を実現する方策を考えよう	
第4回	「日本で一番かがやく田舎」を目指し、アドベンチャータウンとして、里山の活用や自然を活かしたスポーツイベント、まちじゅうサクラPRとして、桜の植樹活動、農えん創造として、体験型観光農園や就農支援などの取組が提案されました。

## 【1班 活力とにぎわいのあるまち①】

### ●第2回 猪名川町のいまを見つめよう

猪名川町の自然や文化、都市部への交通アクセスの良さ、人そのものに魅力を感じて いる一方で、道路の整備状況やまちの情報発信力の弱さ、高齢化の問題などが課題として挙げられました。

#### 【主なご意見】

【魅力】	【課題】
<ul style="list-style-type: none"><li>・農産物がおいしい</li><li>・大都市への交通の便が良い</li><li>・銀山などの歴史的文化遺産</li><li>・里山がある</li><li>・人が優しい、ゆったりしている</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・道路等の環境整備</li><li>・通学路の安全確保が必要</li><li>・食事ができる場所が少ない</li><li>・総合病院がない</li><li>・情報発信力が弱い</li><li>・高齢化</li></ul>

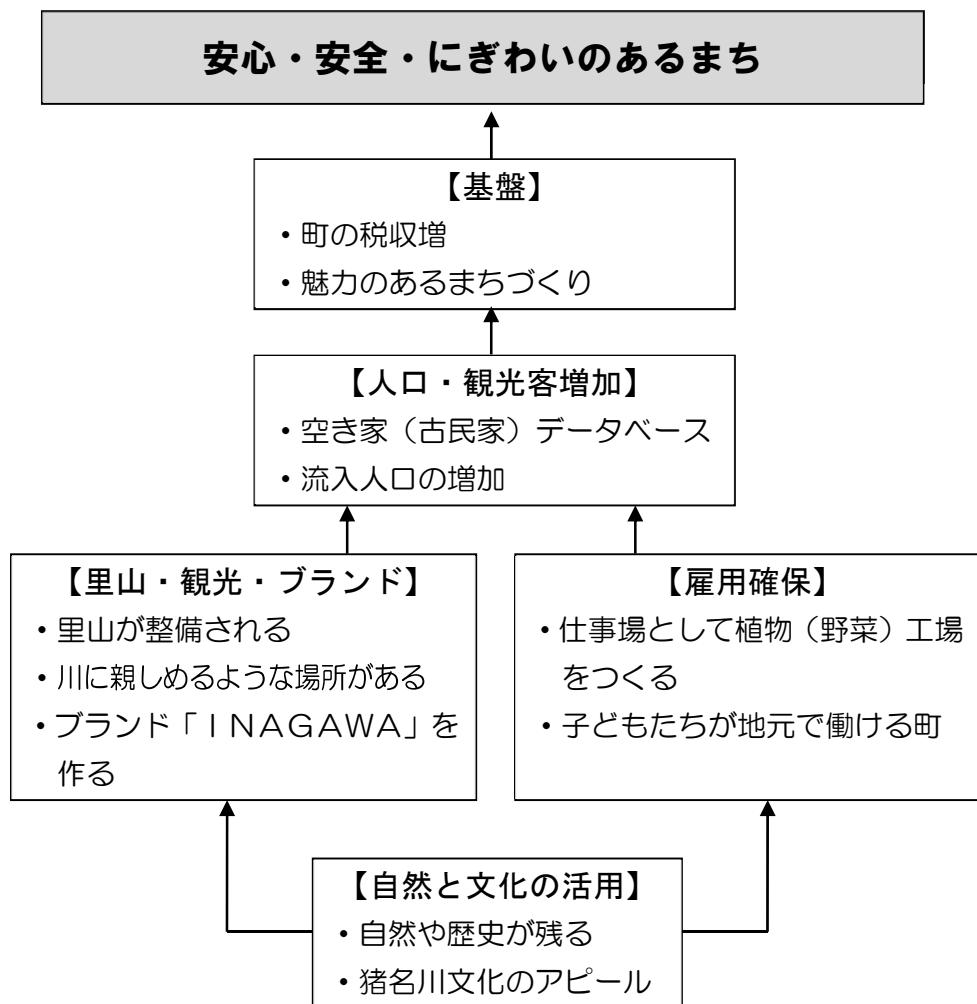


## ●第3回 猪名川町の未来～あした～を描こう

猪名川町の魅力である自然や文化などの地域資源を活かした観光振興、ブランドの確立を進めるとともに、働く場所を確保し、人口と観光客の増加を図る「安心・安全・にぎわいのあるまち」という未来を描きました。



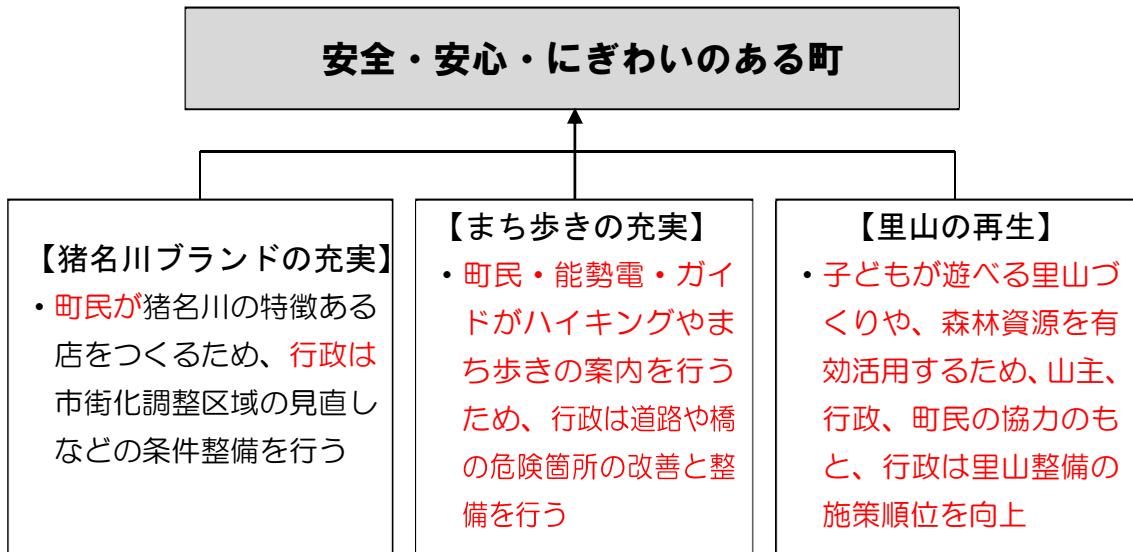
### 【主なご意見】



## ●第4回 猪名川町の未来～あした～を実現する方策を考えよう

「安全・安心にぎわいのある町」を目指し、猪名川ブランドの充実を図るための規制の見直しやハイキング等まち歩きの充実、里山の再生など、住民と行政の協力のもと地域資源を活かした取組や外部への情報発信、PRの強化が提案されました。

### 【主なご意見】



## 【2班 子どもたちの笑顔があふれるまち】

### ●第2回 猪名川町のいまを見つめよう

自然が多い環境の中で子育てができることや人のあたたかさなど都会では得られない魅力を感じている一方で、恵まれた自然が十分に活用できていない現状や子どもの居場所が少ないとこと、サークル、コミュニティなどの意見を聞いてくれる中間地点がないこと、自治会を抜ける方がいることで、世代間のつながりが薄れていることなどが課題として挙げられました。

#### 【主なご意見】

##### 【魅力】

- ・自然が豊か
- ・公園が沢山ある
- ・図書館など文化施設が充実している
- ・人のぬくもりがある

##### 【課題】

- ・豊かな自然を活用できていない
- ・児童館など放課後の子どもの居場所が少ない
- ・色々な世代間の交流をする機会が少ない
- ・行政と個人をつなぐ中間的な組織がない

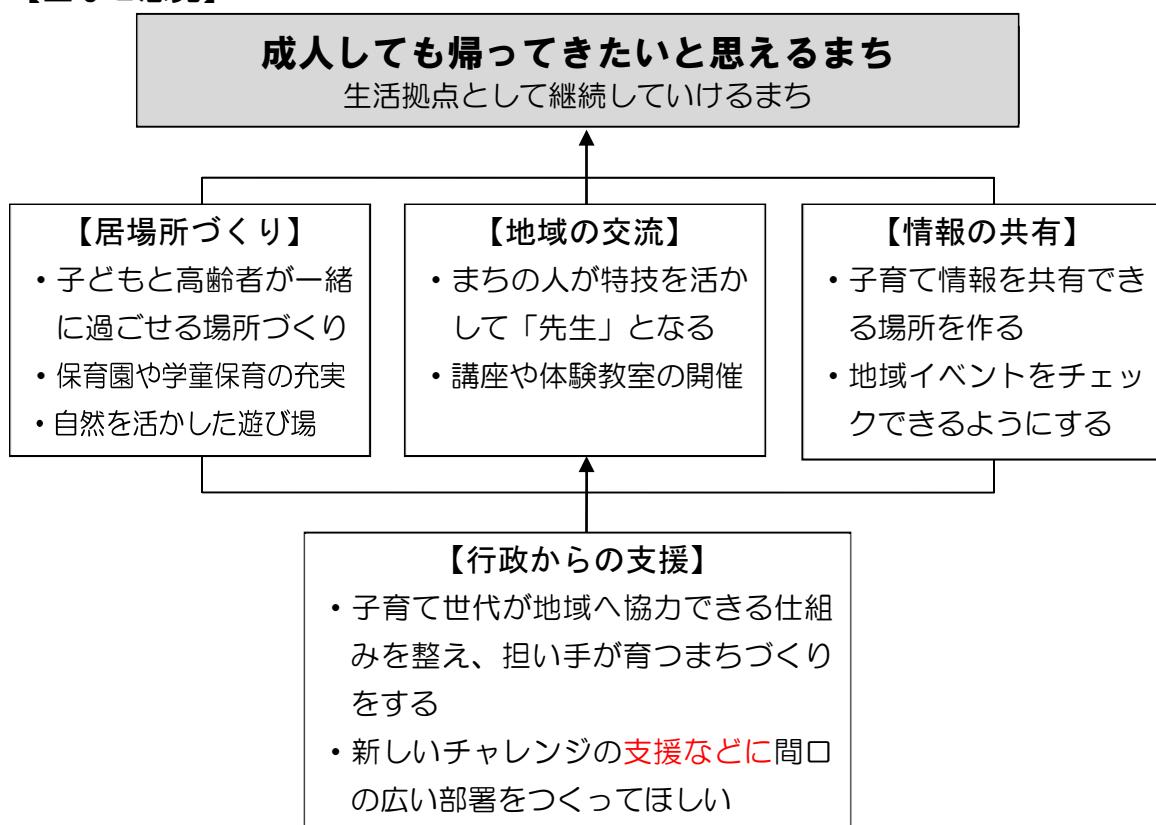


## ●第3回 猪名川町の未来～あした～を描こう

まちづくりの担い手や行政の効果的な支援による子育て中の親や子ども、高齢者の居場所づくりや地域交流、世代交流の実現、子育てやイベント等に関する情報共有など、人材と地域資源を活かした「成人しても帰ってきたいと思えるまち」という未来を描きました。



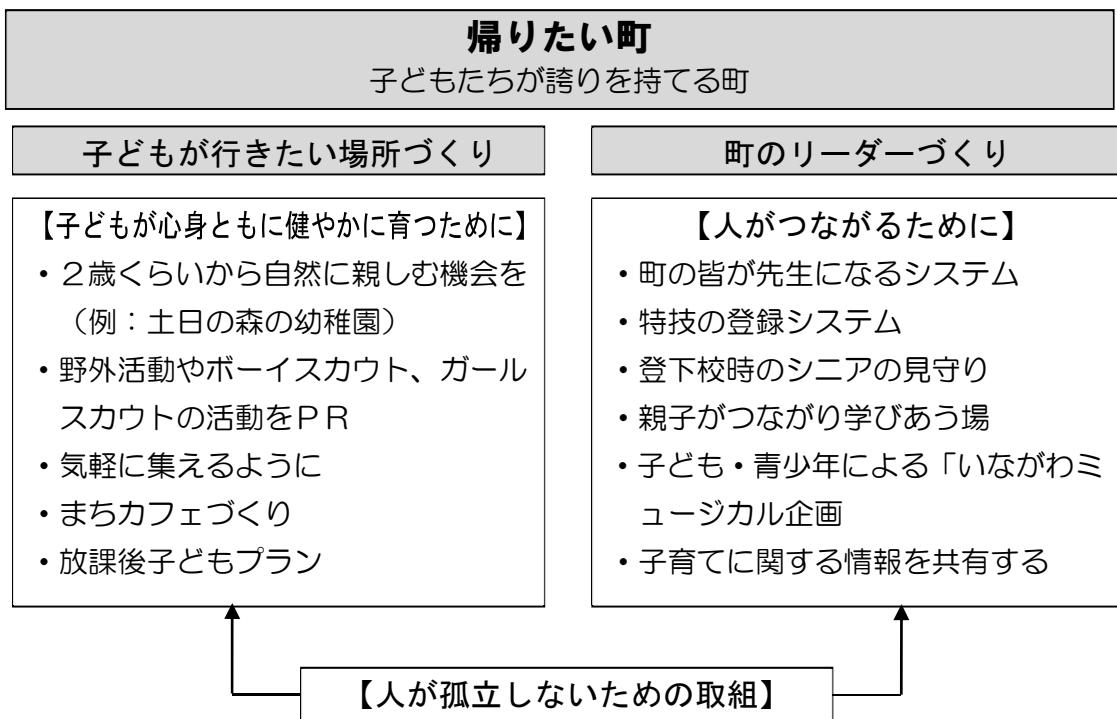
### 【主なご意見】



## ●第4回 猪名川町の未来～あした～を実現する方策を考えよう

「帰りたい町」を目指し、自然環境などの地域資源を活かした子どもが行きたい場所づくりや住民のだれもが先生役になれるような町のリーダーづくりなど、つながりづくりによる人が孤立しないための取組が提案されました。

### 【主なご意見】



## 【3班 だれもがいきいきと暮らせるまち】

### ●第2回 猪名川町のいまを見つめよう

緑の多さや空気のよいしさなど恵まれた自然環境やゆとりのある住宅環境、人とのつながりに魅力を感じている一方で、医療体制に対する不安や北部と南部の交流が少ないこと、交通の不便さ、少子高齢化問題などが課題として挙げられました。

#### 【主なご意見】

##### 【魅力】

- ・緑が多く、田園が広がっている
- ・空気が良い
- ・都市部と比較して住宅にゆとりがある
- ・人のつながりがある
- ・子どもが気軽にあいさつしてくれる

##### 【課題】

- ・医療施設が充実していない
- ・公共交通機関が不便（休日にバスが運行されない、運賃が高い等）
- ・北部と南部（日生ニュータウン）との交流が少ない
- ・高齢化のため自治会運営が困難



## ●第3回 猪名川町の未来～あした～を描こう

自治会活動などの活性化による人とのつながりの強化や交通手段の確保、安心の医療体制など、高齢者や障がいのある人など多様な人が受け入れられる「だれもがいきいきと暮らせるまち」という未来を描きました。



### 【主なご意見】

#### だれもがいきいきと暮らせるまち

##### 【多様な人が暮らせる】

- ・高齢者や障がい者も働く場所があればいい
- ・高齢者の孤立を防止する

##### 【人のつながりがある】

- ・生き活きした自治会活動
- ・近所づきあいを昭和の頃に戻す

##### 【はりあいのある生活】

- ・だれもが受け入れられる
- ・農村地域の活性化

##### 【住民と行政のつながり】

- ・住民と行政が一体となるよう、コミュニケーションUP

##### 【安全に移動できる】

- ・車を持たない人も自由に移動できる
- ・歩道整備

##### 【豊かな自然がある】

- ・生き活きした自然が守られる

##### 【安心の医療】

- ・診療所や相談窓口となる施設をまとめた情報源
- ・先進的医療施設の誘致

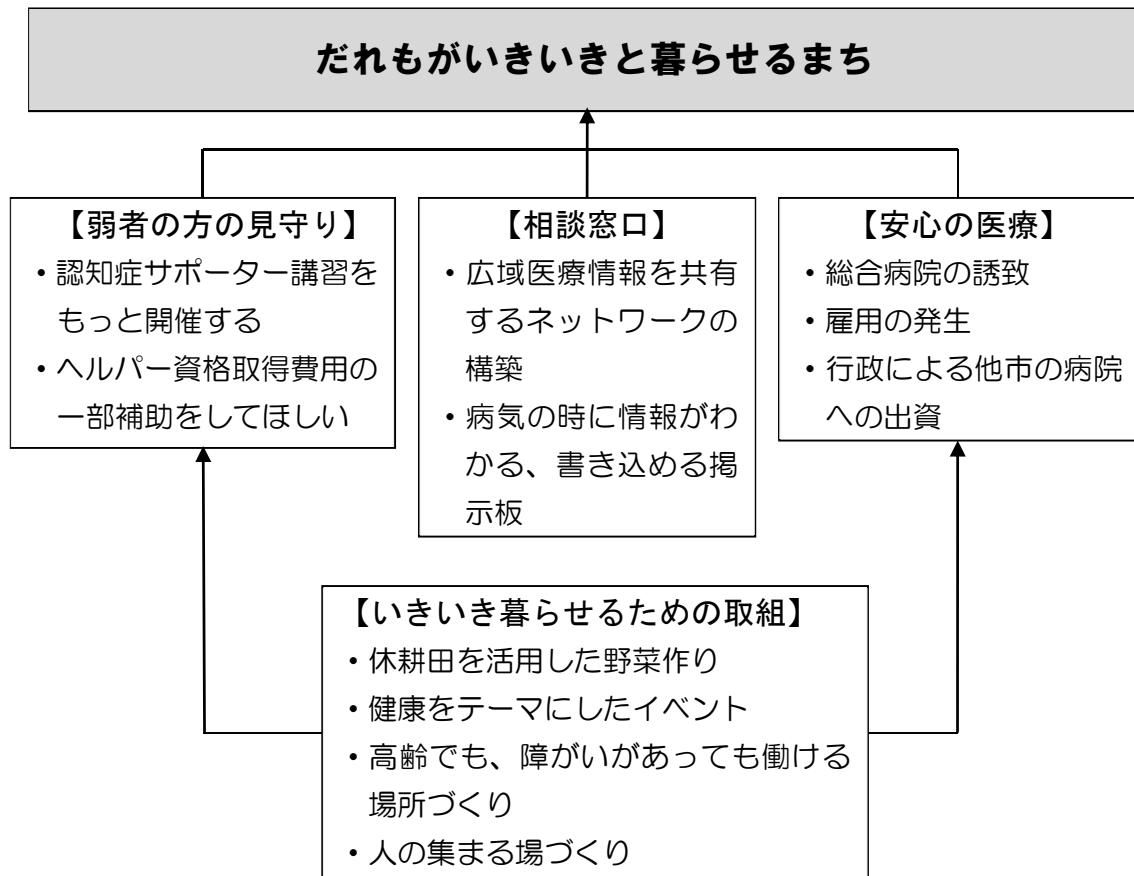
##### 【人が集まる】

- ・文化人が集えるまち
- ・スポーツ大会のイメージUP
- ・「ほたるのタベ」の拡大

## ●第4回 猪名川町の未来～あした～を実現する方策を考えよう

「だれもがいきいきと暮らせるまち」を目指し、認知症など弱者の見守り体制の充実や地域にいる医療や介護のプロフェショナルを活かした助け合いの仕組みづくり、医療に関する相談窓口、ネットワークの充実、安心の医療体制のための総合病院の誘致などと併せ、健康づくりや働く場所、人の集まる場づくりなどの取組が提案されました。

### 【主なご意見】



## 【4班 安心とふれあいのまち】

### ●第2回 猪名川町のいまを見つめよう

自然に恵まれながら、生活上の利便性があることや安心して子育てのできる環境、人の良さに魅力を感じている一方で、住民の自発的協力意識の薄さや北部と南部の地域格差、若者の流出などが課題として挙げられました。

#### 【主なご意見】

##### 【魅力】

- ・人が良い
- ・猪名川町を好きな人が多い
- ・子育てがしやすい
- ・自然に恵まれながら、生活上の利便性はある
- ・図書館などが充実している

##### 【課題】

- ・住民の自発的な協力意識の薄さ
- ・北部と南部の地域格差
- ・若者の流出が増えている
- ・一人暮らしの高齢者が増えている



## ●第3回 猪名川町の未来～あした～を描こう

川がきれいで星がたくさん見える恵まれた自然環境を活かし、働く場所や医療体制などの生活環境が整備され、人とのつながりのある安心できるコミュニティを築ける「みどりとえがおのあふれる町 住んでよかったナ、帰ってきたい町」という未来を描きました。

### 【主なご意見】

#### みどりとえがおのあふれる町 住んでよかったナ、帰ってきたい町

##### 【自然環境】

- ・本当に安心して暮らせる環境に
- ・川がきれいで、生物が沢山いて、蛍が飛びかう
- ・星がたくさん見えて空気がおいしい

##### 【コミュニティ】

- ・安心、安全なまち
- ・コミュニティの築ける町
- ・お隣さんを知っていてお互い助け合える
- ・あいさつなどのコミュニケーションをとる
- ・違う世代間で交流できるようにする
- ・自然の大切さを知る機会を作る
- ・子どもが公園でたくさん遊んでいる

##### 【生活環境】

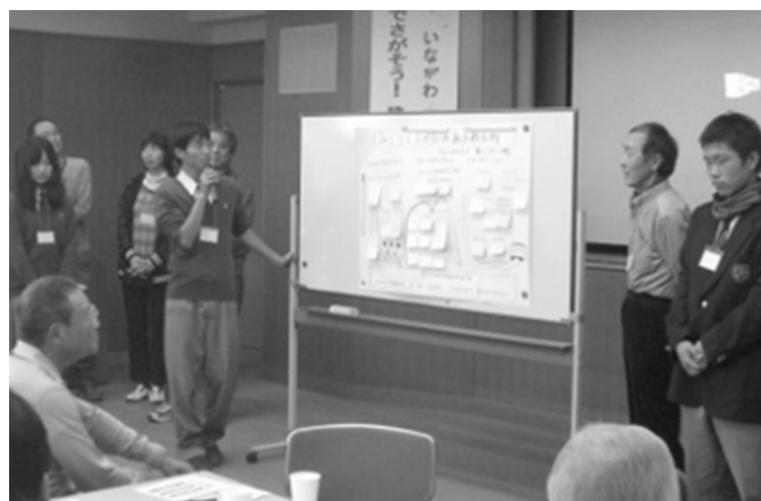
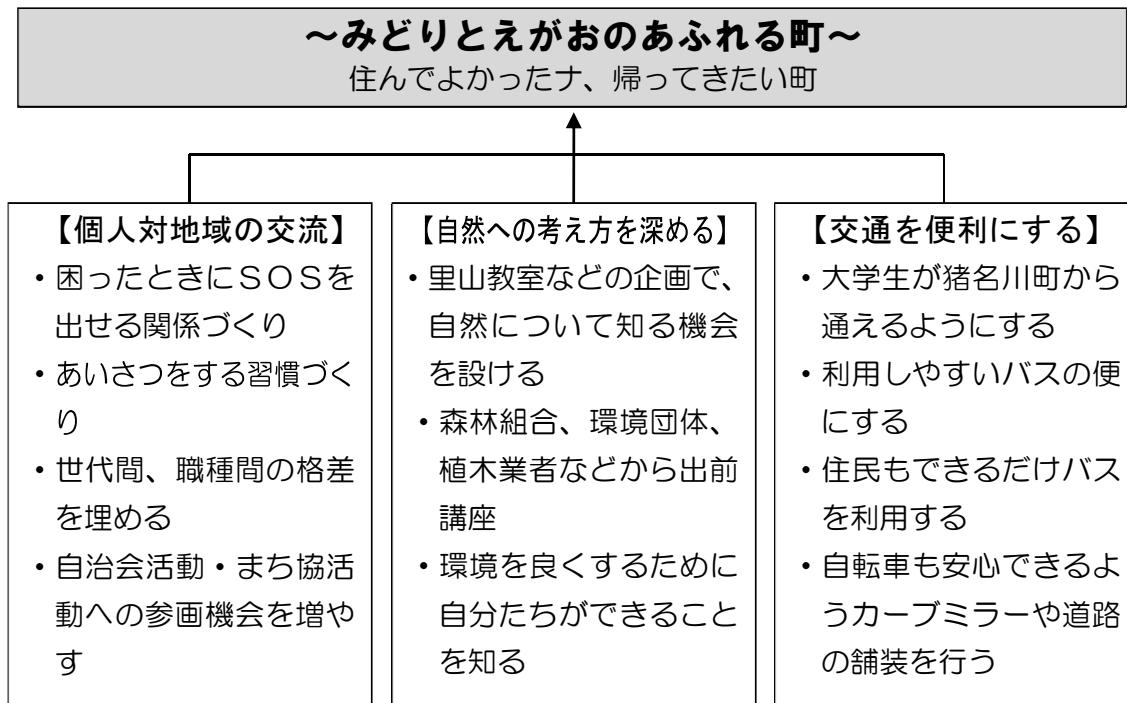
- ・働く場所があり、活気がある
- ・バスの数をもう少し増やす
- ・大きな病院がなくても急病にはすぐに対応できるようにする
- ・地元の収穫物を地元で消費できる



## ●第4回 猪名川町の未来～あした～を実現する方策を考えよう

「みどりとえがおのあふれる町 住んでよかったです、帰ってきたい町」を目指し、困った時に助け合える関係・環境づくりや世代を超えた交流の場づくり、体験を通して自然への考え方を深める機会や場づくり、交通を便利にするためのバスの充実や道路の舗装などの取組が提案されました。

### 【主なご意見】



## 【5班 活力とにぎわいのあるまち②】

### ●第2回 猪名川町のいまを見つめよう

豊かな自然や銀銅山などの歴史・文化、住みやすさや人のあたたかさなどに魅力を感じている一方で、働く場所の少なさや人が集える場所の不足、まちのPR力の弱さなどが課題として挙げられました。

#### 【主なご意見】

##### 【魅力】

- 星がきれい
- 川遊びのできる猪名川の河川
- 美しい桜並木
- 歴史ある多田銀銅山

##### 【課題】

- 観光などのPR力が弱い
- 働く場がコミュニティビジネスも含めて少ない
- 若者が集える空間が少ない
- 人が集まる場所をつくる
- 人を呼び込む目玉をつくりたい



## ●第3回 猪名川町の未来～あした～を描こう

農業体験や地域資源を活かしたイベントの開催、廃校や酒蔵など既存の店舗や施設の活用と活性化の促進、ボランティアやコミュニティなど人がつながる仕組みづくりで「農でにぎわう・イベントで集う・活かす・つながるまち」という未来を描きました。



### 【主なご意見】

#### 農でにぎわう・イベントで集う・活かす・つながるまち

##### 【活かす】

- ・廃校利用、休耕地利用などによって人が集まりやすい場所を整備
- ・里山の利用目的を明確にする
- ・お店を増やす
- ・阪神間で一番高い山をアピール
- ・自然の中で暖炉のあるような山小屋
- ・酒造跡地の酒蔵を再利用

##### 【イベント de 集う】

- ・人が集まるイベントを毎年定期的に開催する
- ・人が集まる手作り市
- ・ウォーキングコース、ハイキングコースを作る
- ・元気UP商店街の復活
- ・ご当地アイドル

##### 【つながり】

- ・ボランティアによる高齢者世帯の見守り
- ・大きなコミュニティより小さなコミュニティーを多く支援
- ・年寄世帯の見守り

##### 【農でにぎわい】

- ・農家に住み込む農業体験
- ・収穫体験農園の実施
- ・道の駅でフレッシュな野菜の販売
- ・畠付き住宅の開発
- ・就農して農家として自立



## ●第4回 猪名川町の未来～あした～を実現する方策を考えよう

「日本で一番かがやく田舎」を目指し、猪名川町の自然と魅力を楽しめるアドベンチャータウンとして、里山の活用や自然を活かしたスポーツイベントの開催、まちじゅうサクラPRとして、桜の植樹活動、農えん創造として、体験型観光農園や就農支援などの取組が提案されました。

### 【主なご意見】

#### 日本で一番かがやく田舎

#### アドベンチャータウンいながわ

##### 【自然にふれあえるまち】

- ・子どもたちが自然にふれあえる町
- ・阿古谷小を活用する
- ・あふれている里山を活かす
- ・カブト虫の里山

##### 【自然を活かしたスポーツイベント】

- ・トレイルランニングなどのスポーツイベントを開催する
- ・まち協、スポーツクラブなどが連携する

#### まちじゅうサクラPR

- |           |                |
|-----------|----------------|
| ・桜メインの講習会 | ・桜お花見、サイクリングなど |
| ・桜の植樹     | ・写真撮影会         |

#### 農えん（園・円・縁）創造

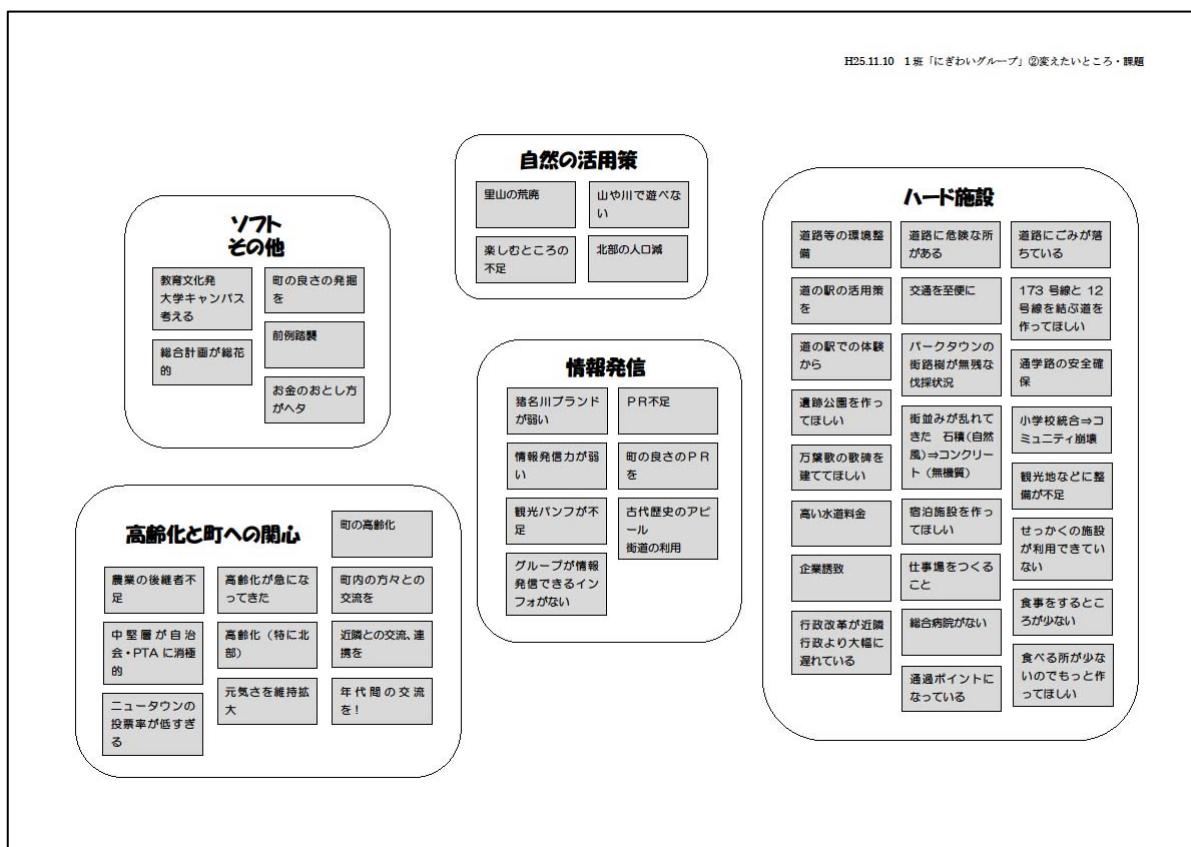
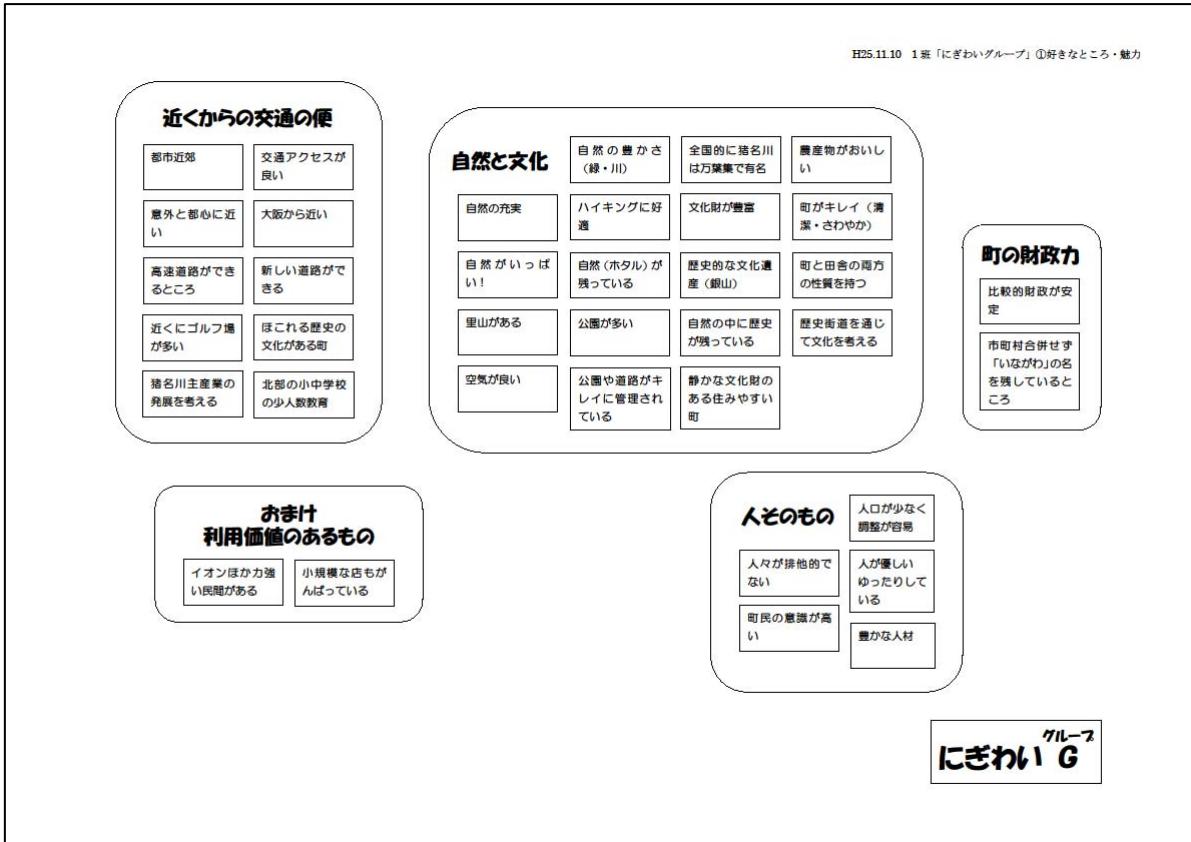
- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| ・農園で縁を結び、円（お金）を生む！ | ・就農支援              |
| ・収穫体験農園            | ・猪名川町の土に一番適した作物の開発 |
| ・手作り市              | ・介護施設と連携           |

#### 住民主体のPR組織

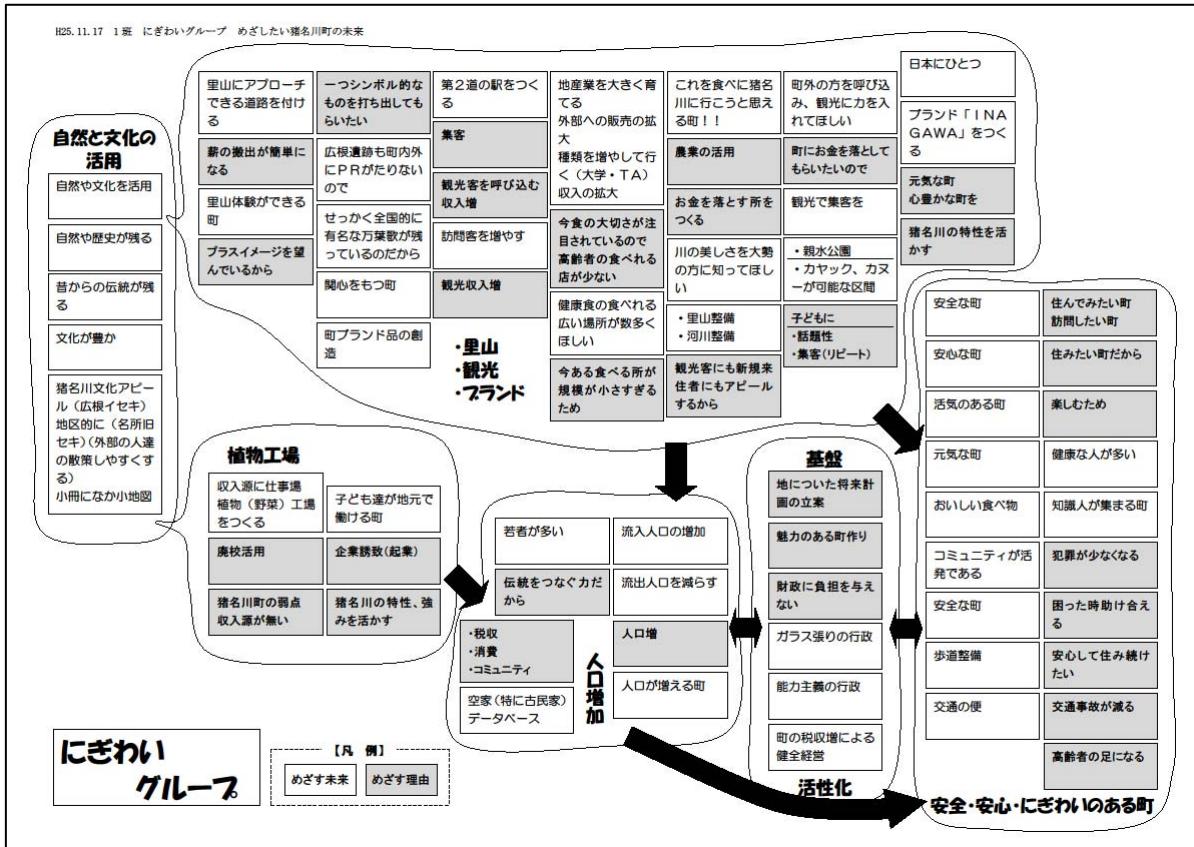


## **交流会模造紙まとめ**

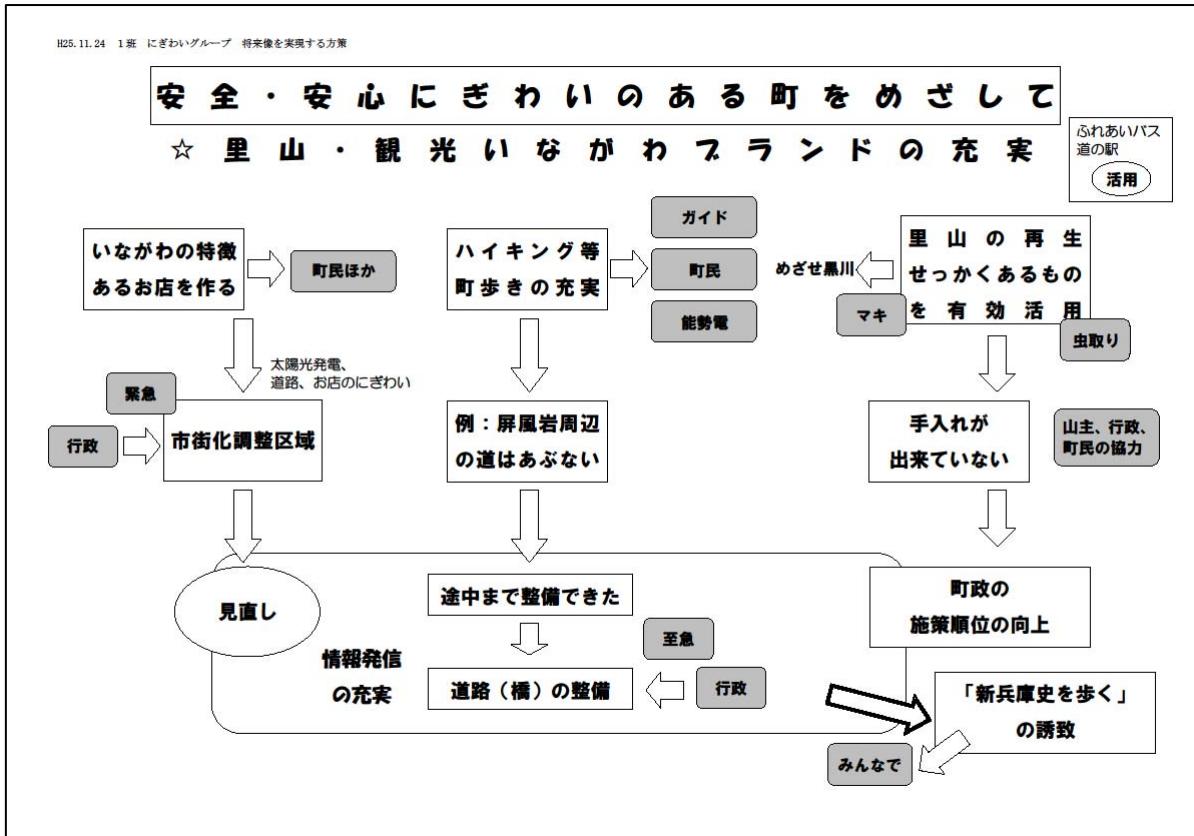
## 【1班 にぎわいグループ】●第2回



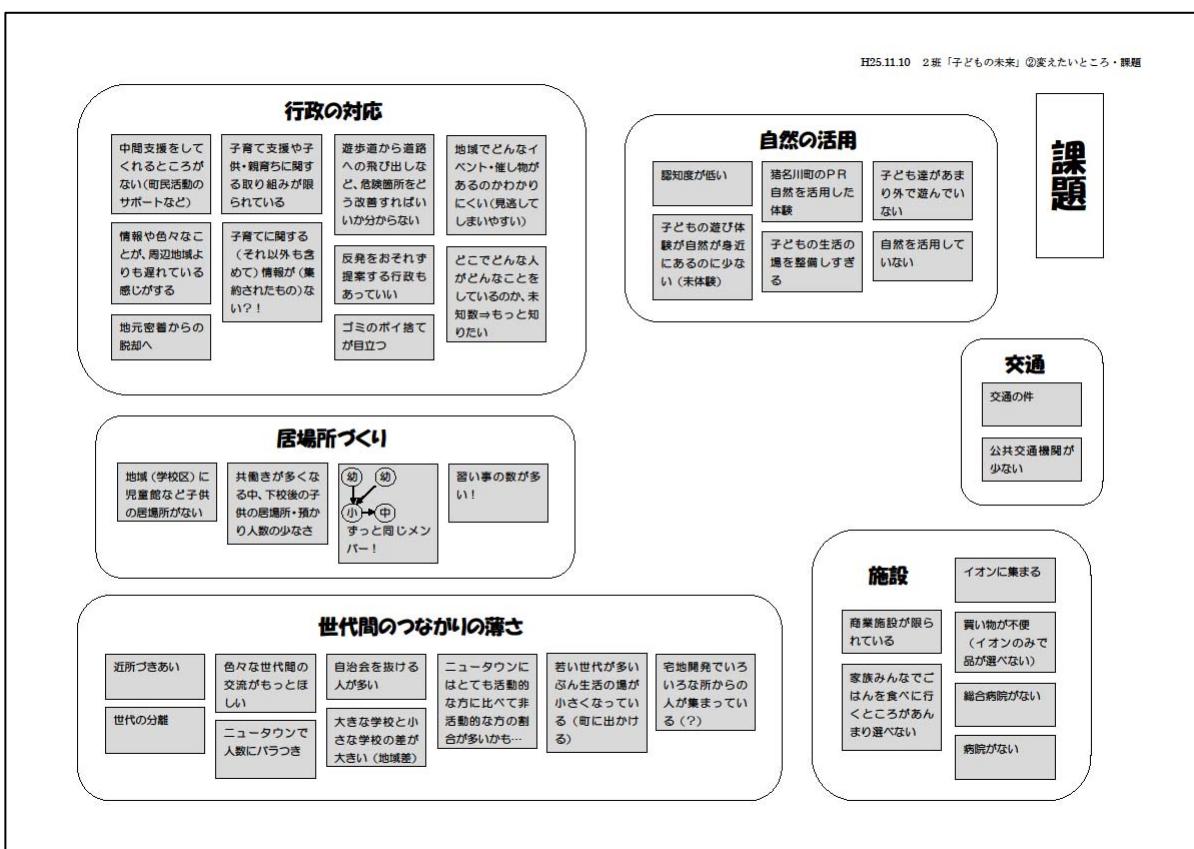
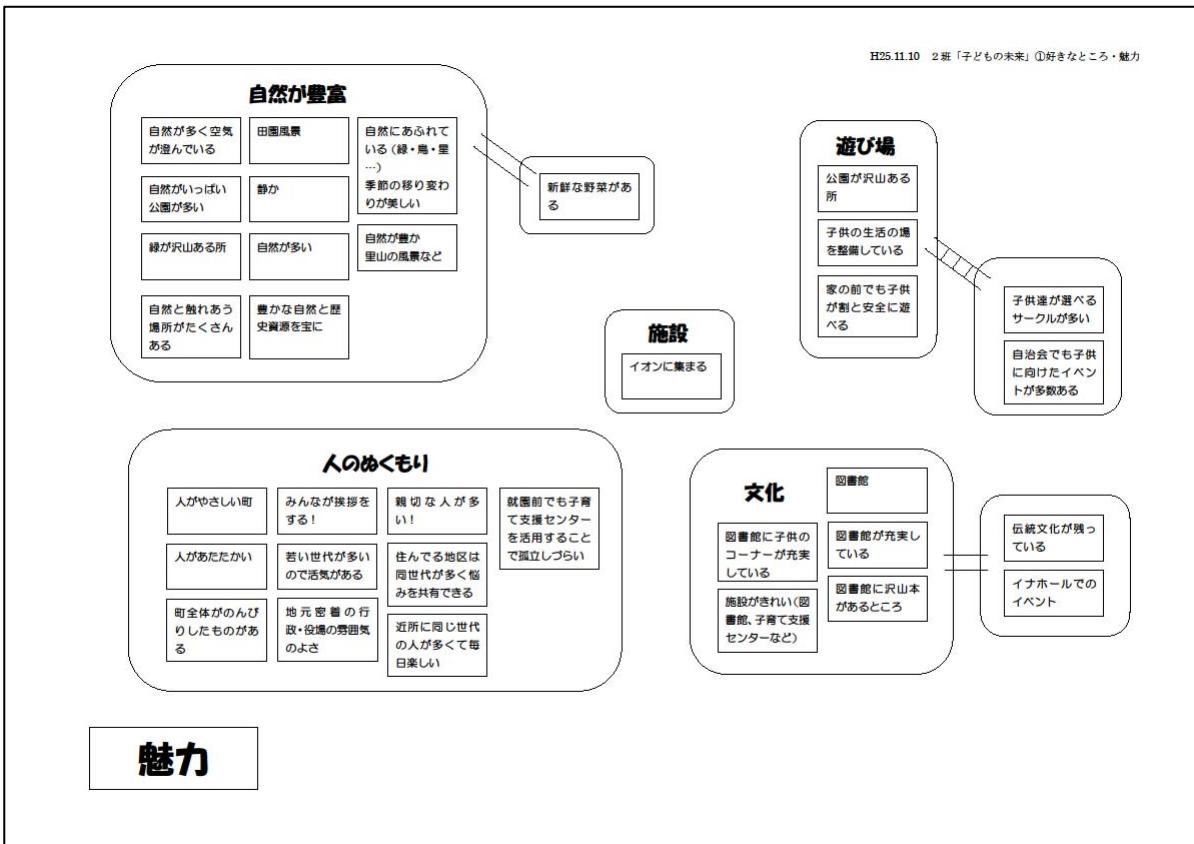
●第3回



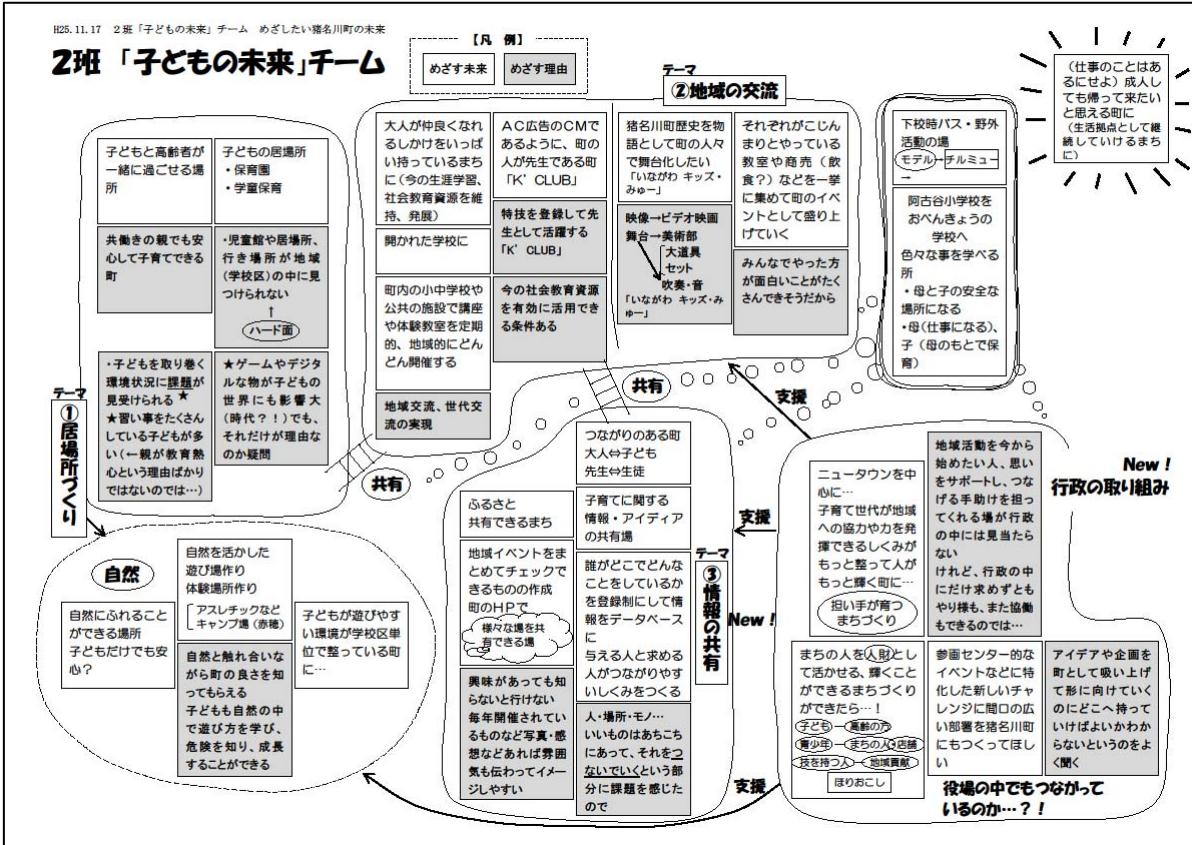
## ●第4回



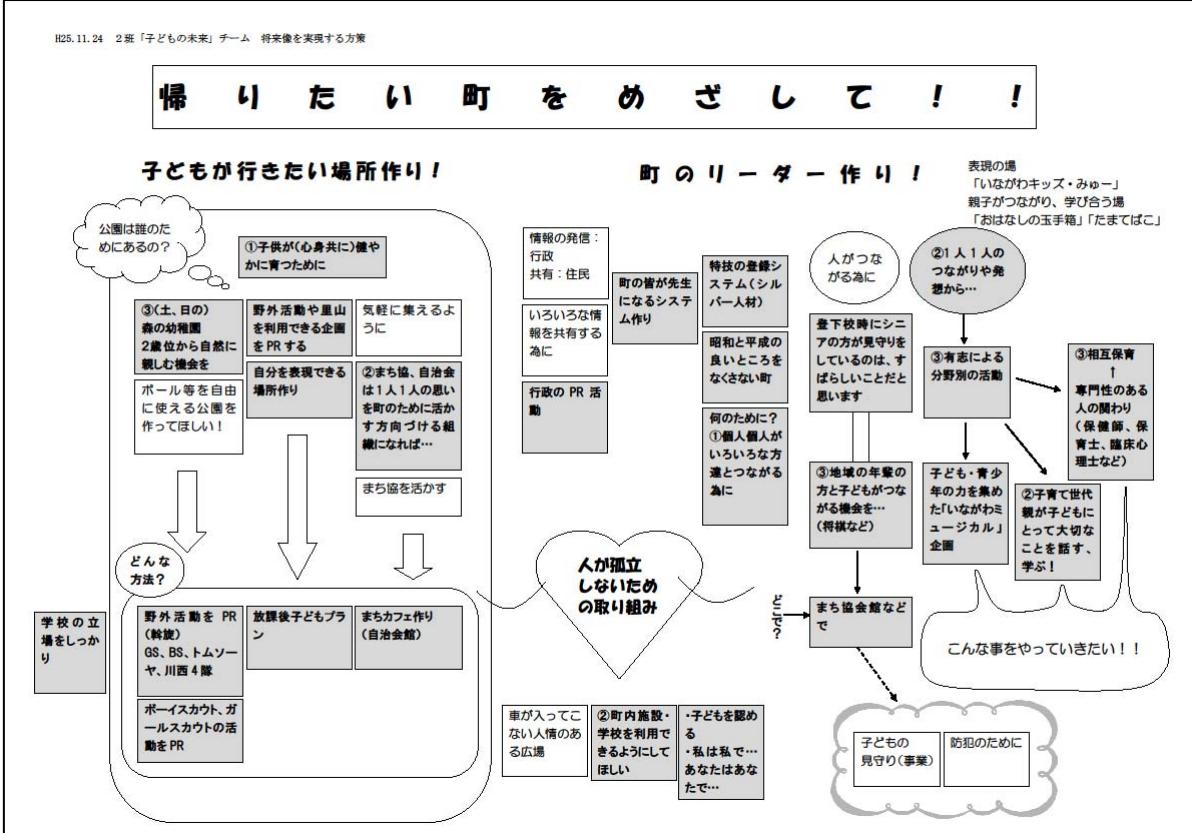
## 【2班 子どもの未来チーム】●第2回



## ●第3回



## ●第4回



## 【3班 だれもが生き活きチーム】●第2回

H25.11.10 3班「だれもが生き活きチーム」好きなところ・魅力 変えたいところ・課題

すきなところ		3	こうなつたら良いと思うところ	
<b>自然環境</b>	<b>ゆとり環境</b>	<b>人のつながり</b>	<b>団体活動</b>	<b>医療の充実</b>
緑が多い 空気がよい 自然の中でのんびり 自然が豊か 子どもの教育に適している 自然がいっぱいある 緑が多く、田畠が広がっている 子どもが生き生き遊べる	都市部と比較して住宅事情にゆとりがある 住宅地として整っている 人口密集によるせこましさがない 交通の便 むかしより…	近所との関係が良い 人のつながり 規模が小さいので顔が見えるものが多い 子どもが気軽にあいさつしてくれる	新しい住民を受け入れる自治会活動 人権を考える団体とつながりがある	大きな病院に行くには遠くまで行かないとアクアン 医療施設が充実していない 病院 地域医療に不満 医療体制の充実
<b>交流つながり</b>	<b>オンリーワン魅力</b>	<b>高齢化少子</b>	<b>自然環境</b>	
	旧村部とニュータウンの違い 大きすぎるので北の方と日生NTとかの交流がない 自然が豊かと言いいながらそれが生活に反映しているかどうか不明 住民同士の交流できるきっかけの進があれば 川西能勢口までの310円が高い 公共交通の充実 土日にはバスがない	オンリーワンという格差が無い（欲しい） 猪名川町の魅力や特色と課題を結びつけ取り組み 猪名川町をもっと好きになれるプロジェクトがあれば… もっと住民の人方が憩いたいと思うおこしのプロジェクトがあれば 児童養護施設への反対の声がある	高齢者のこと 高齢化で自治会運営が難しい 少子化によるクラス数の少なさ 老人の街化（生き生きと暮らせる街） 老後が心配（不安）	冬が寒すぎる 役場 町役場の改造 教育文化活動 住民のあらゆる研修 教育、文化的な環境が足りない
<b>いなかわ☆未来創造交流会</b> 2013.11.10	<b>第2回 だれもが生き活きチーム</b>			

## ●第3回

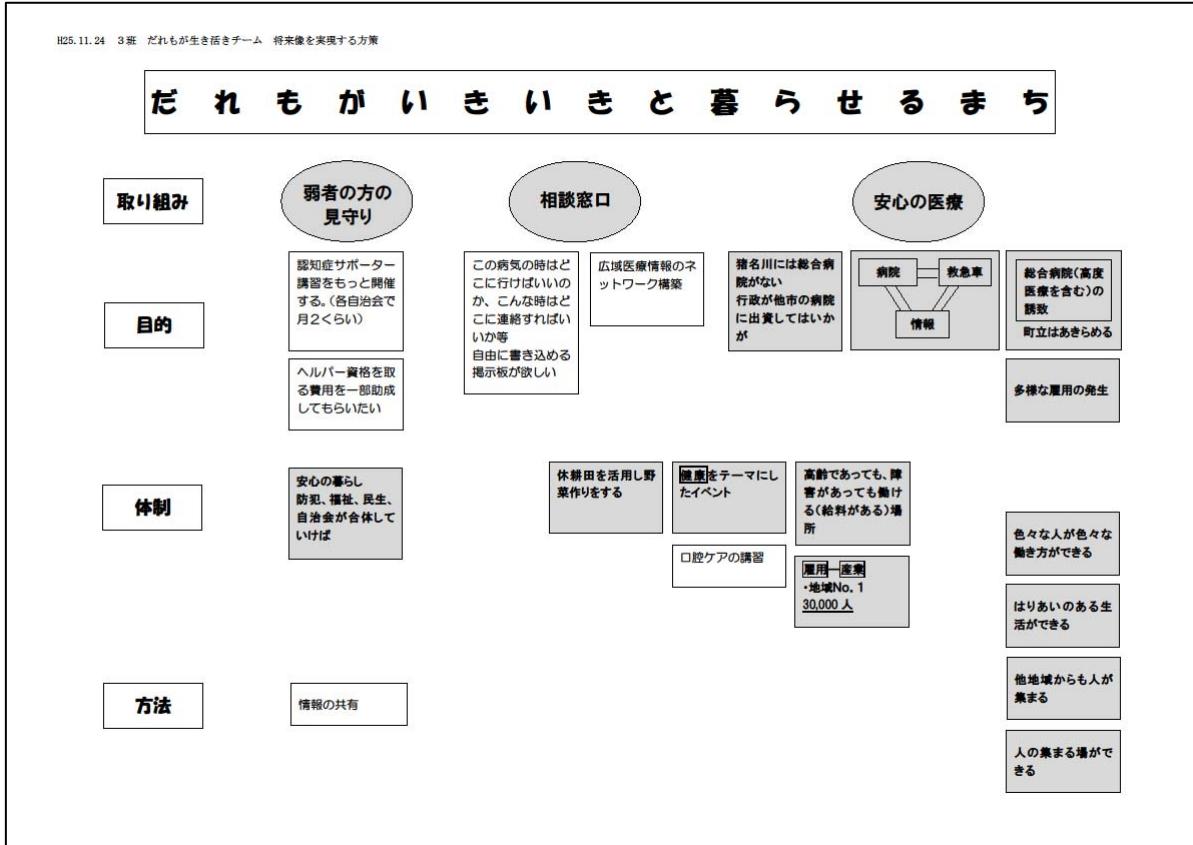
H25.11.17 3班 だれもが生き活きチーム めざしたい猪名川町の未来

**めざす猪名川町の未来**

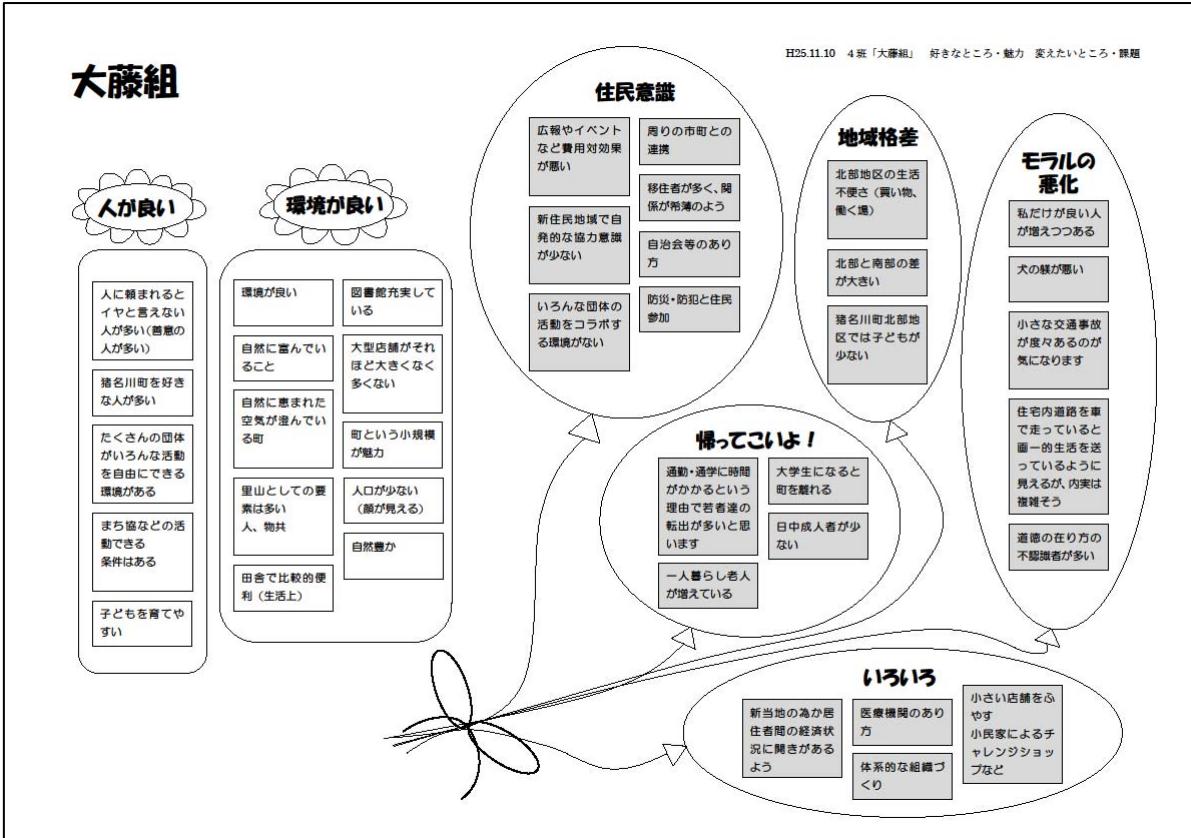
3班

多様な人が暮らせる	人のつながりがある	はりあいのある生活	豊かな自然がある	人が集まる	安心の医療
高齢・障がいなど弱さを持った人も働ける場所があったらいいな いろんな人がいるのが社会なので色々な人を受け入れられる社会・町であって欲しい どんな人を持っている能力を活かせる社会・町であって欲しい 多様さを受け入れることのできる町	多様多様な仕事場があつたらいな こういうことがこの強みになつたらいな 高齢者になったときの孤立などを防ぐ 住宅街のいる人々は同年代が多いので担当などを決めて見回りなどをしてほしい 生き活きた団体活動の交流や発表 いろいろな人がいろいろなテーマをもつてている	各世代の人たちが交流できる ニュータウンに住んでいる高齢の方はどうしても孤立しているように感じる 生活困難でも相談・支援がいる例)一家焼死事件 児童養護施設に反対の声がある 生き活きた自治会活動 近所・地域のつながりが弱まっていないか 近所のつきあい昭和のころに戻らないか	生き活きたどれもが受け入れられる 農村地域の活性化 休耕田を活用し、野菜作りで交流の場を広げる 阿古谷小学校を有効に活用 いろいろな人が交流出する施設に 学校にてイジメなくなつたら良いが	生き活きた自然が守られる 高速道路など自然への影響に心配 車を持たない（運転できない）人も自由に移動できたらいいな 「自分の意思で行きたいところに行ける」というあたり前のことがしたい 歩道整備 行政と住民が一体になるコミュニケーションUP 3万人のほどよい町だからこそ	農業や食に関するイメージUP 豊かな自然を活かせる スポーツ大会（プロジェクト）のイメージUP GOLFやTENNIS自転車、マラソン練習環境豊富だから 文化人が集まる町 オニーワンの町 お祭り 歴史を活かして 「ほたるのタペ」をもっと拡大する お祭りのようにして交流する
<b>2013.11.17 第3回 いなかわ☆未来創造交流会 だれもが生き活きチーム</b>	<b>【凡例】</b> めざす未来 めざす理由				

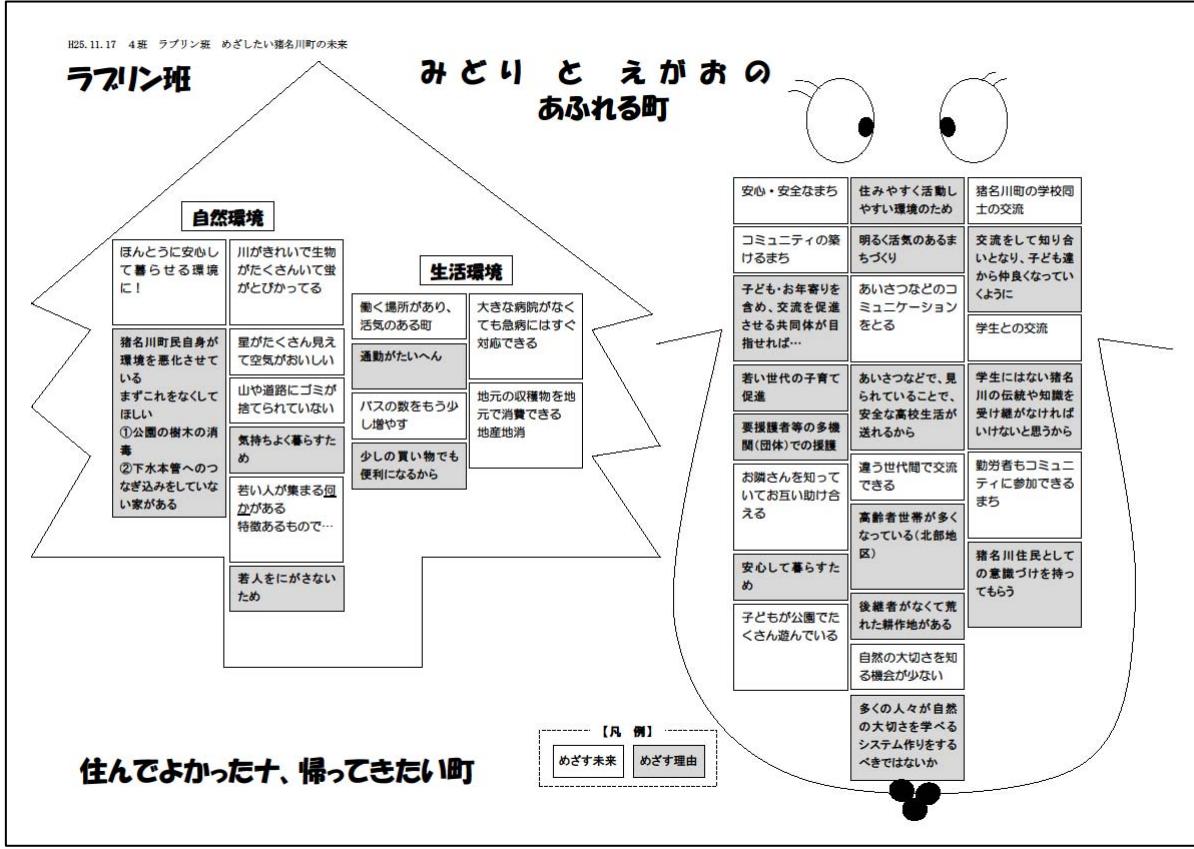
## ●第4回



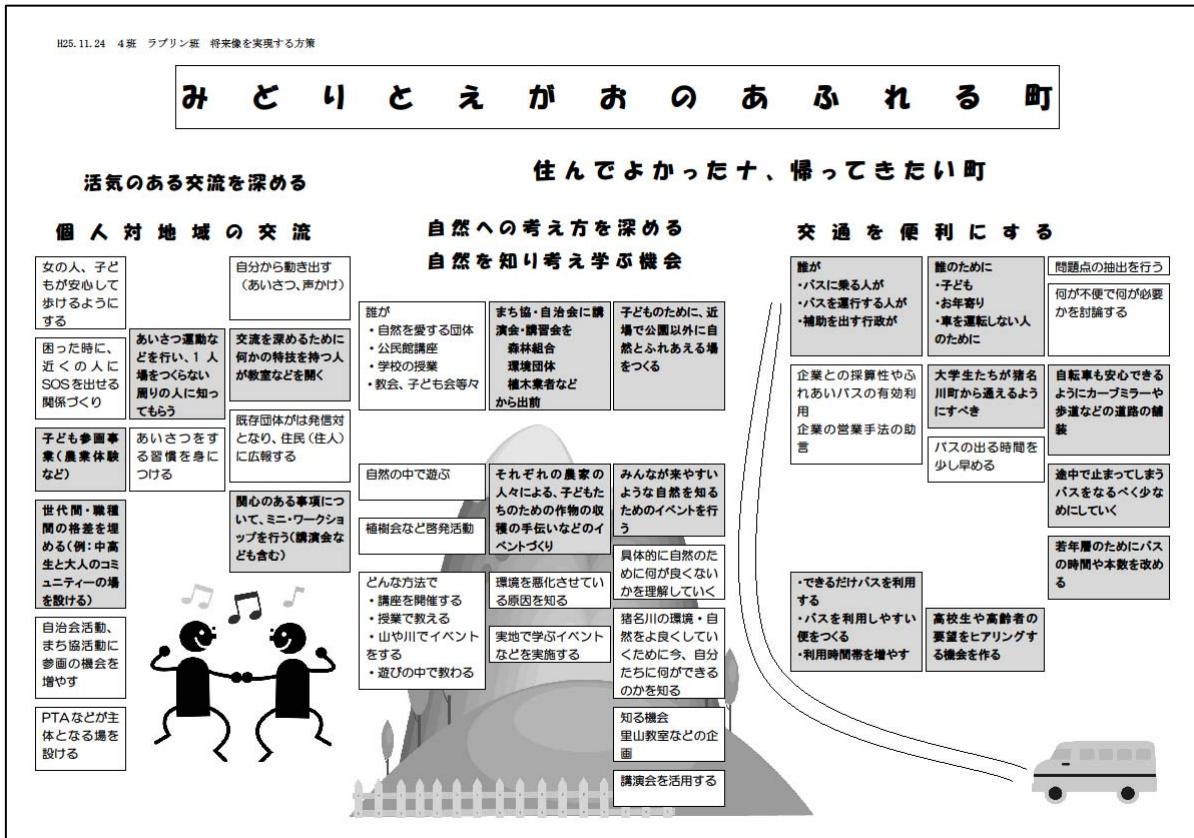
## 【4班 大藤組】 ●第2回



●第3回

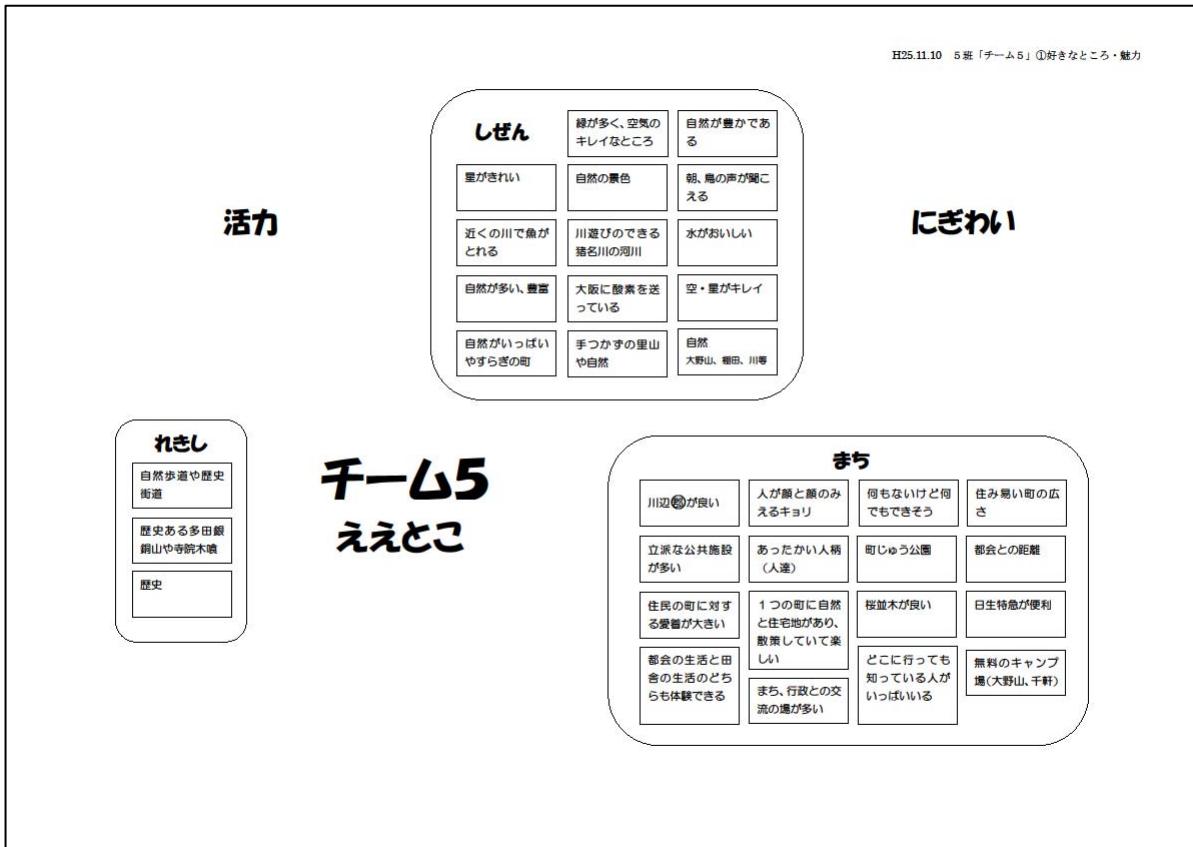


●第4回

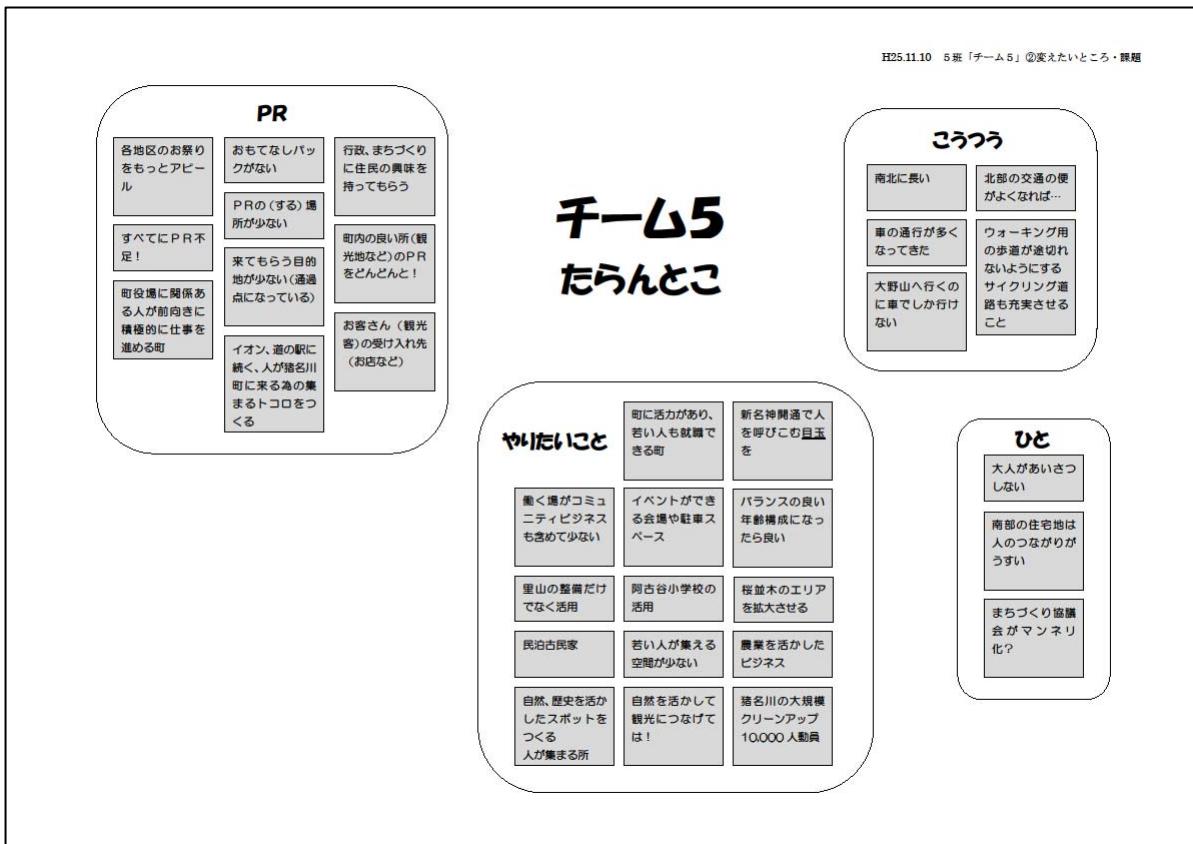


## 【5班 チーム5】●第2回

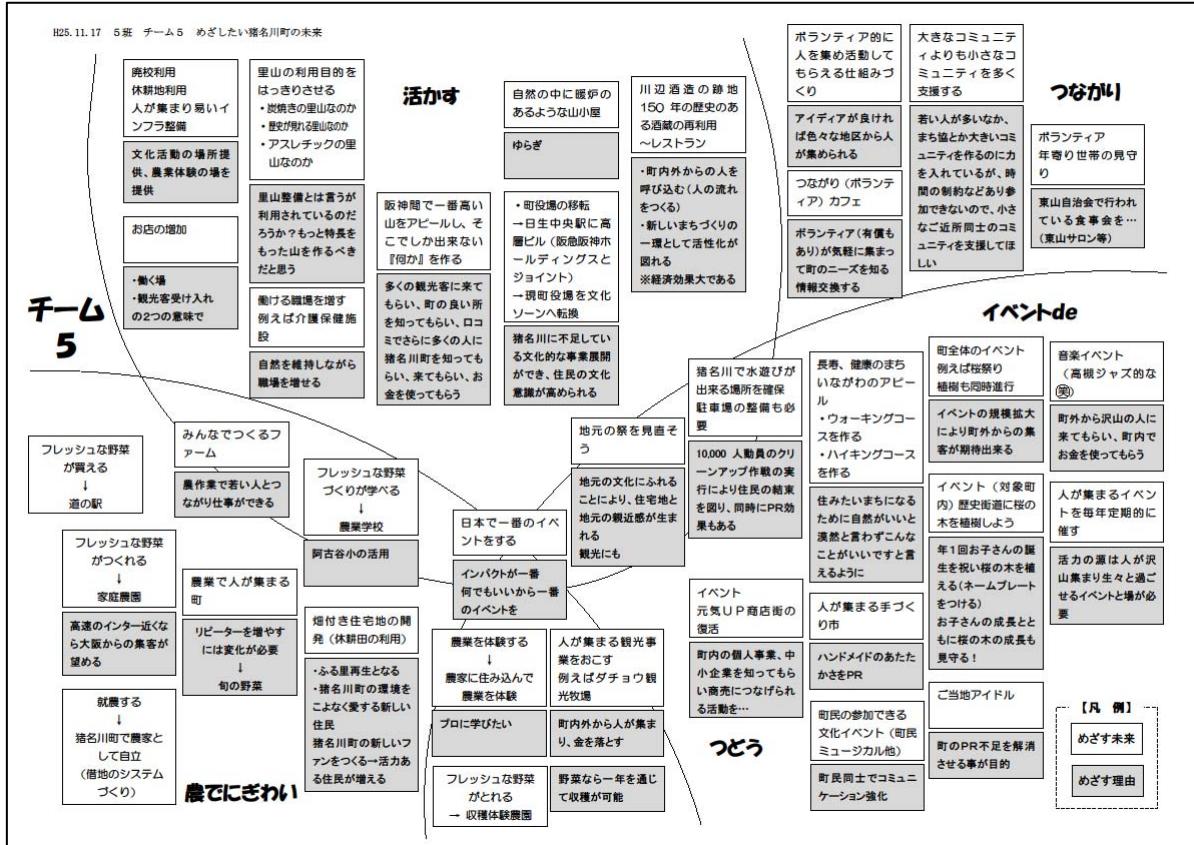
H25.11.10 5班「チーム5」①好きなところ・魅力



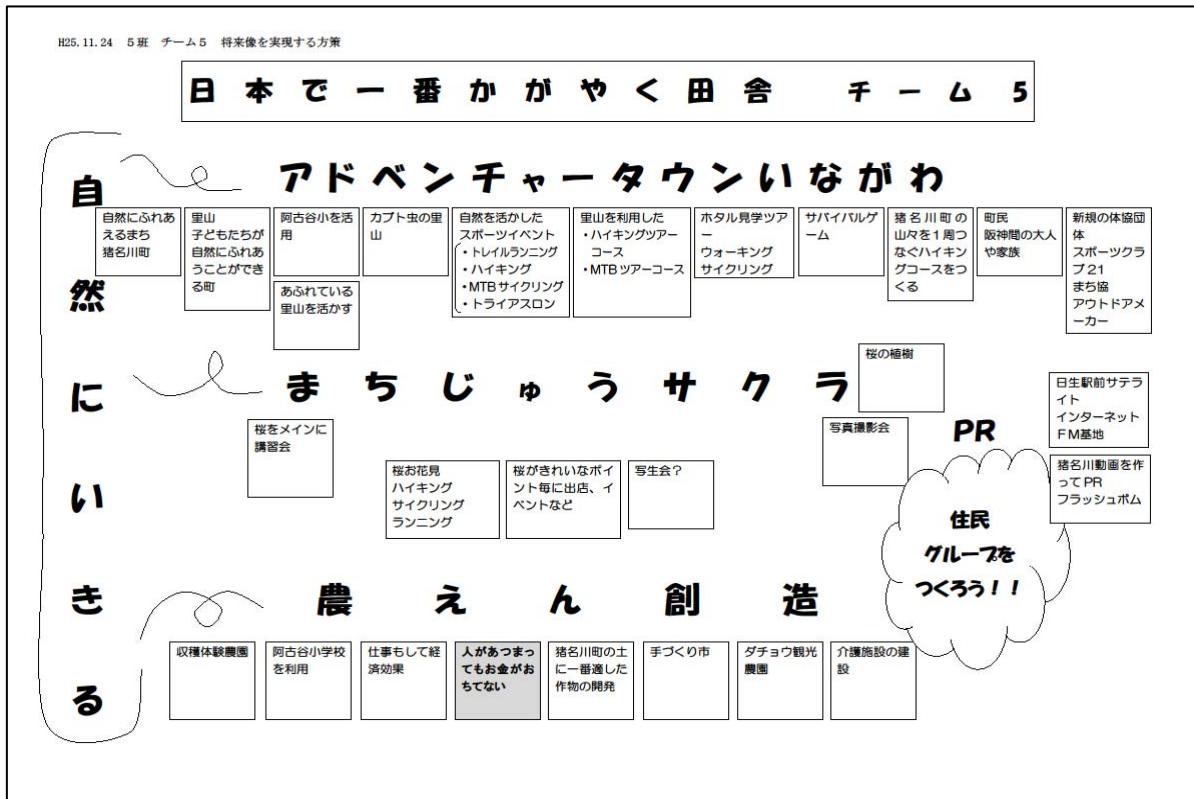
H25.11.10 5班「チーム5」②変たいところ・課題



## ●第3回

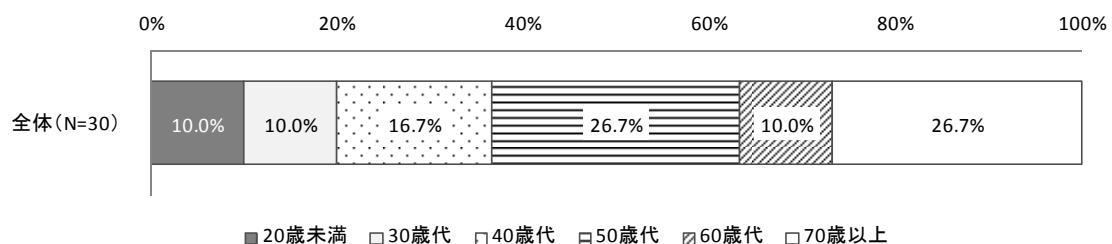


## ●第4回

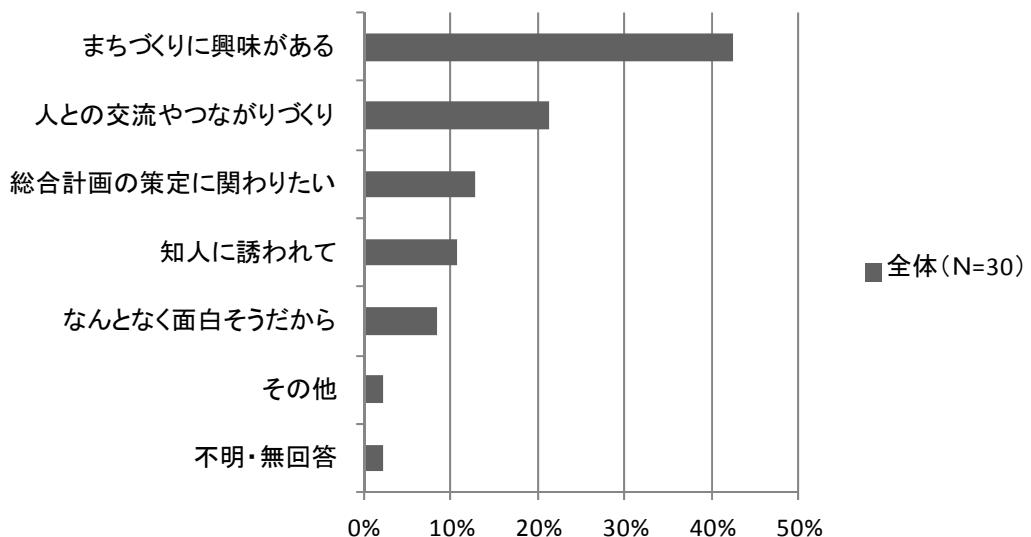


## 参考資料 交流会終了時アンケート集計結果

(問1) あなたの年齢は？

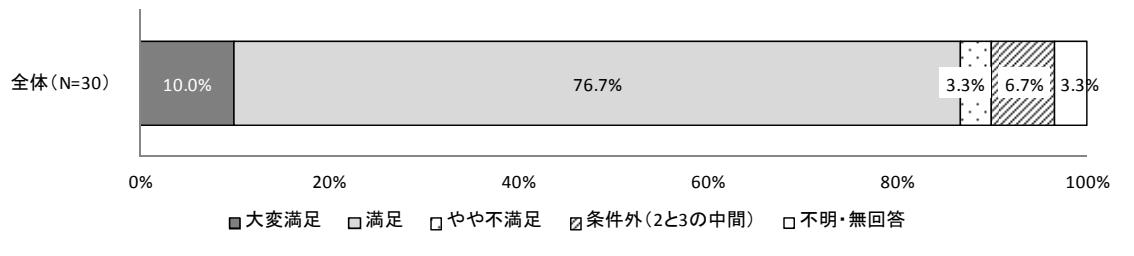


(問2) なぜ交流会に参加しましたか？（複数回答可）



その他回答	類似件数
ボランティア経験を活かせる場を探しに	1

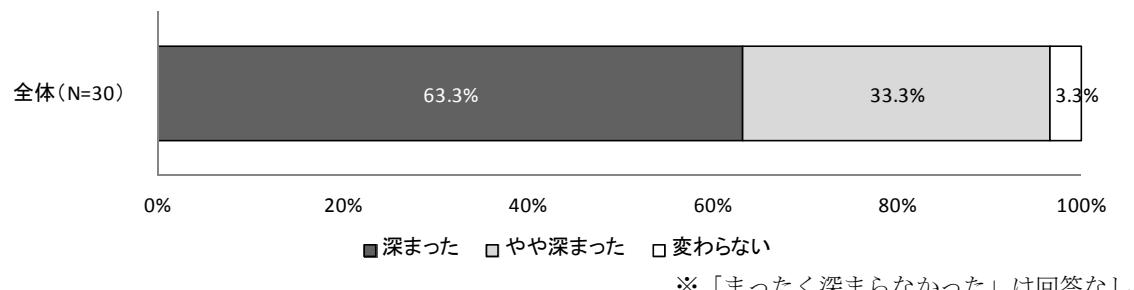
(問3) 交流会の内容は満足のいくものでしたか？



※「大変不満足」は回答なし

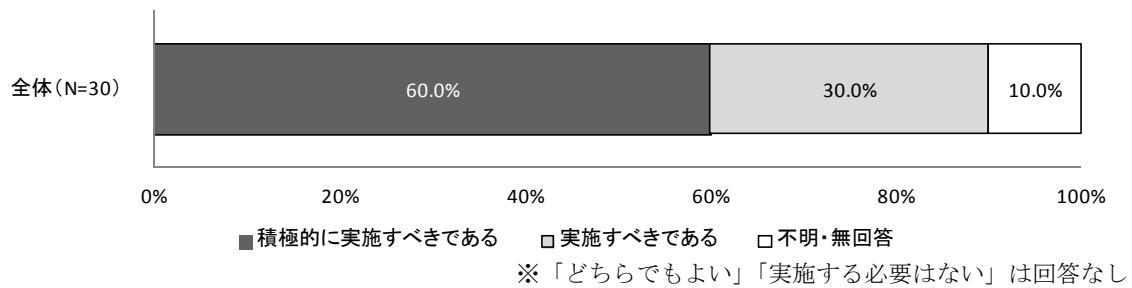
その理由	類似件数
他の人の意見を知ることができた	6
新しい情報を得る(交換する)ことができた	7
色々な人と知り合うことができた	3
参加者の協働ができた	2
最終的なまとめがうまくいかなかった	2
町が住民の声を聞く姿勢が見えた	1
熱意を感じることができた	1
(町からの)情報提供が不十分だったように思う	1
この会の行く末が見えない	1
猪名川町の本当の姿を知ってほしい	1

(問4) 交流会に参加して、町づくりへの興味や関心は深まりましたか？

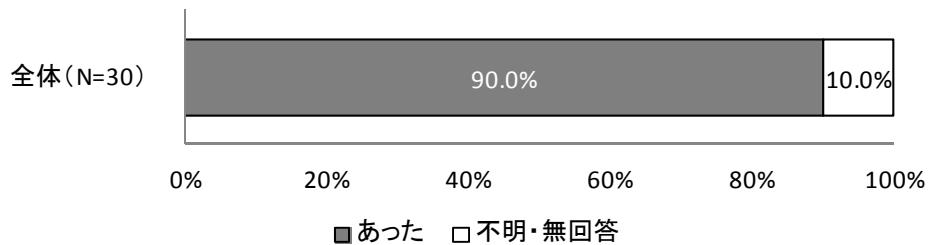


※「まったく深まらなかった」は回答なし

(問5) 今後もまちづくりの計画など住民が参画する今回のような会を実施するべきだと思いますか？



(問6) 交流に参加して新たに気づいたことや、今後自分が取組みたいことなどがありましたか？



内容	類似件数
何らかの具体的なまちづくり企画	7
町を良くしたいという人がいることが分かった	4
異なる世代の意見を知ることができた	3
まちづくりへの参加	3
考える時間がもっと欲しかった	2
まちづくりに関する啓発の必要性	2
市街化調整区域について知ることができた	2
猪名川町はPR不足であると分かった	1
新しい人との交流	1
猪名川町で就農したい	1
住民と行政の協働の必要性	1

(問7) 交流会や、まちづくりについてのご意見をぜひお聞かせください。

回答	類似件数
このような交流会をもっと行なうべき	8
交流会で話し合った内容を施策に反映してほしい	4
行政と住民が協力してまちづくりに取り組むべき	3
楽しく参加できた	2
交流会でできたつながりの維持	1
参加者のつながり自体ができていない	1
町による自然破壊を見直してほしい	1
町は総合計画を提示してほしい	1
箱ものづくりはやめてほしい	1
特になし	1
不明無回答	7